

2018年（平成30年）

那覇市麻疹対応経過報告書



那覇市保健所

平成30年7月

はじめに

わが国では2006年（平成18年）以降、MRワクチンの定期予防接種回数が2回に増えた事もあり、2008年（平成20年）当時1万人以上居た麻疹患者は減少し、ついには2015年（平成27年）WHO（国際保健機関）による排除認定を受けるまでに至った。沖縄県内においても、2010年（平成22年）から発生ゼロを達成し、2014年（平成26年）の輸入症例1例のみに留まっていた。その矢先、本年3月、台湾人観光客を発端に新たに麻疹患者が発生し拡大した。流行は県外にも飛び火し未だ影響は残っているものの、最終的には県内99名の発症となった。

今回の感染拡大の特徴として、1）初発患者が外国人であり、スーパースプレッダー（多くの人へ感染させる者）であった事、2）患者が発症後も観光地を転々とした事、3）結果として複数の患者が同時期に県内各地で発生した事、4）不特定多数の接触者の集団が多く存在した事 5）30歳代が最も多く成人麻疹が中心であり、観光・接客業や医療従事者も含まれた事等が挙げられる。

那覇市においても28名が発症し、疑い例としては125件、3週間の健康観察者は約2,050名に達した。連日、複数患者の発生があり、積極的疫学調査や72時間以内の予防接種勧奨対象者への対応、外出自粛の要請、各医療機関からの検体搬送や結果連絡等、更には患者本人や一般からの相談問い合わせと、マスコミへの記者会見、さながら新型インフルエンザ発生時の様相を呈し、日夜業務に追われた。医師を中心に感染症グループや保健総務課、地域保健課の職員も加えて総出で対策にあたったが、他市町村に先駆けて始めた0歳児の緊急予防接種での健康増進課業務も重なり、まさに保健所は火の車のような状態が2ヶ月近くも続いた。職員も疲弊しかかった頃、接触者の絞込みと予防接種、患者の行動制限等がどうやら功を奏し、発生件数が減少しはじめ、ついには死亡例を1例も出さないまま、那覇市を含め県全体での終息宣言を迎える事が出来た。これも那覇市保健所職員が課を超えて一丸となって感染拡大防止対策に取り組んだ結果と自負する。

輸入症例からの発症は那覇市のみならず、今後日本のどこにでも起こりうる事例である。定期予防接種率の95%達成や予防接種1回世代への予防接種勧奨や関係機関との連携体制の確立、麻疹患者の宿泊先の検討等反省すべき課題は多く残されているが、この報告書は内部評価の一部であり、今後アンケート調査等も加えて今後の対策（Plan）に反映することにより次のPDCAにつなげる事としたい。最後に今回ご支援を頂いた、国立感染症研究所の島田智恵先生、実地疫学専門家養成コースの加賀優子保健師をはじめご協力を頂いた医師会、各関係機関等の皆様に感謝の意を表します。

平成30年7月 那覇市保健所長 東 朝幸

目 次

I はじめに

II 麻疹流行の概要

1 沖縄県全体	1
2 那覇市	1
3 県外	2

III 那覇市の麻疹対策と対応 (Plan & Do)

1 準備期	3
2 初発患者発生 (健康危機レベル1)	4
3 二次感染者発生 (健康危機レベル2)	5
4 二次感染者多発 (健康危機レベル3)	7

IV 課題と今後の対策 (Check & Act)

1 準備期	13
2 健康危機情報の収集と伝達及び提供	13
3 連絡	13
4 健康危機レベルの設定	13
5 対応	13
6 対策本部の設置	14
7 医療の確保	14
8 検査	14
9 応援要請	15
10 広報	15
11 患者等に対する精神的ケアの実施	15
12 事後の評価	15

【参考資料】	17~72
--------	-------

Ⅱ 麻疹流行の概要

1. 沖縄県全体

2018年3～6月に沖縄県で流行した麻疹の概要は、沖縄県保健医療部地域保健課より次のように報告された（同年6月11日）

- ① 3月20日に確認され、その後感染が急激に広まり5月15日までに99名が感染
- ② 初発患者は台湾人観光客（タイにて感染）
- ③ 感染した患者の70%がワクチン未接種、あるいは接種歴が不明
- ④ 30代の感染が31%と最も多く、患者の72%が20代から40代の成人
- ⑤ 保健所別の患者発生状況：北部22例、中部（台湾の1例を含む）26例、南部24例、那覇市24例、宮古2例、八重山保健所1例
- ⑥ 職業別には観光・接客業の方が最も多く、医療従事者も感染
- ⑦ 医療機関からの「はしか」疑い事例の検査数：576例（うち検査診断例99例）
- ⑧ 患者の行動歴調査、接触者の特定と健康状態の観察：約5,550名
- ⑨ 6月11日に終息宣言

経済的には、5,572人の観光客キャンセルにより4億1,900万円の損失が報告された（沖縄ツーリズム産業協議会発表：琉球新報6月8日）。

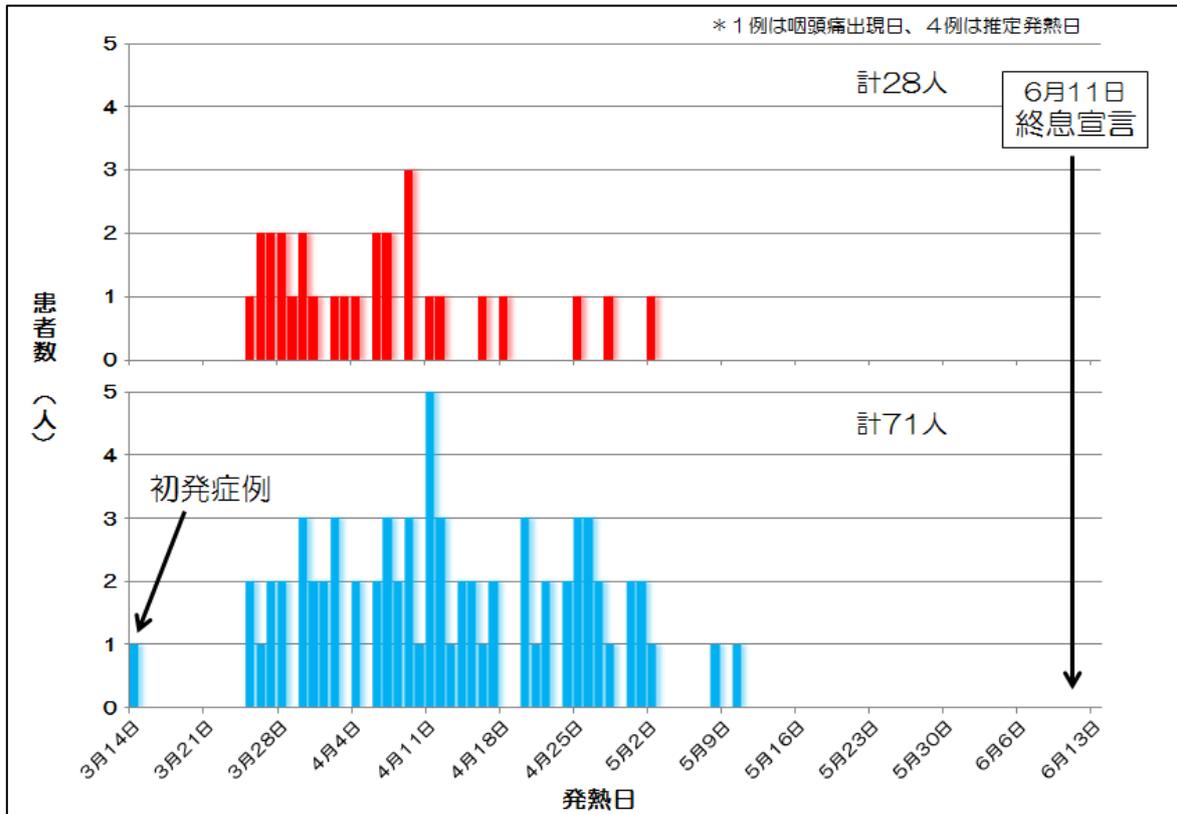
詳細は資料3（沖縄県終息宣言記者会見資料）を参照

2. 那覇市

那覇市での麻疹の流行は次のようにまとめられる。

- ① 3月31日に那覇市内で初めての二次感染者を確認
- ② その後、感染が急速に広まり5月8日までに那覇市管区内で24名が感染
- ③ 那覇市居住者としては28名が感染（図1）
- ④ 那覇市内の麻疹診療医療機関は29施設
- ⑤ 医療機関からの麻疹疑い届出数、那覇市関係149例
- ⑥ 内訳：市内4救急告示病院95例、2病院5例、クリニック44例、市外5例
- ⑦ このうち125例を行政検査
- ⑧ 患者の行動歴調査、接触者の特定と健康状態の観察：約2,050名
- ⑨ 6月2日に市内最終接触者（資料8、図8-2那覇133の接触者）の健康観察が終了

図1 2018年 沖縄県の麻疹流行曲線（上：那覇市居住者、下：那覇市以外）



今回の那覇市での麻疹流行の特徴として次のようなことが考えられた。

- 1) 多訪問と多接触：初発患者は市外で確認されたが、患者は空港を始め市内の多数の商業施設やホテル、モノレールを利用しており、多数の接触者が特定されるも、不特定接触者はその数倍に上ることが推測された。
- 2) 二次感染までは那覇市以外とほぼ同数の感染者がみられたが、三～四次感染と思われる症例は那覇市では少ない傾向にあった（図1）。

3. 県外

沖縄県で流行した麻疹は、県外にも感染が広がった。名古屋市は、4月12日に同市居住の10代男性が麻疹に感染していることを発表した（名古屋市：麻疹（はしか）患者の発生について）。この患者は3月28日～4月2日に沖縄を旅行していることと遺伝子型検査結果から、沖縄県の上記初発患者からの三次感染者と考えられた。同市ではこの患者からの麻疹感染が拡大し、5月14日までに24名の麻疹患者が確認された（名古屋市：麻疹（はしか）患者の発生について（第10報）：6月11日）。

Ⅲ 那覇市の麻疹対策と対応 (Plan & Do)

1. 準備期

地域保健法に基づく「地域保健対策の推進に関する基本的方針」には、保健所の健康危機管理機能の強化が謳われている。具体的には、地域における健康危機管理の拠点としての機能の強化であり、いの一番目に、平時からの地域関係機関と連携した危機管理体制の整備が挙げられている。

那覇市では、中核市となった2013(平成25)年度に那覇市健康危機管理基本指針(那覇市指針：資料1-②)が制定されるとともに健康危機管理体制が整備された。以降、要綱等(資料1-③～⑤)を適時改正しながら、この体制の元で健康危機管理に当たっている。

これらの危機管理システムはISO 31000に準拠したものとなっている。すなわち、プロセス(原則、枠組み、組織の確定、リスク評価、リスク対応、記録等)によるプロセスアプローチとPDCA(Plan-Do-Check-Act)管理である。

健康危機のうち、感染症については2014年の西アフリカでのエボラ出血熱、2015年の韓国での中東呼吸器症候群や台湾でのデング熱、2016年の南米中心のジカウイルス感染症、ここ数年の世界的薬剤耐性菌まん延等の国際的脅威に対して、同体制で対応してきた。

県内の感染症では、3度の市内結核集団感染(2013年、16年と17年)や県内を起点とした広域(O157)腸管出血性大腸菌感染症等(2016年)に対応してきた。

これらの対応に際しては、那覇市健康危機管理対策連絡会議(資料1-③④)のほか、那覇市保健所感染症対策連絡会議等で市内・県内関係機関(医師会、医療機関、薬剤師会、消防、県地域保健課、県保健所等)と情報共有し、顔の見える連携体制を構築してきた。

感染症のうち、麻疹については、「麻しんに関する特定感染症予防指針」(資料1-①)に基づく各種ガイドライン(資料1-⑥～⑪)が整備されている。那覇市保健所では、これらのガイドラインに沿って、麻疹対策に関する緊急連絡体制や、対応の柱となる積極的疫学調査と行政検査についての体制や手順書等を整備してきた。

実際には、中核市となった2013年度以降、年に数例の市内麻疹疑い患者に対応してきた。2014年には中部保健所管内で発生した麻疹確定症例(フィリピンからの輸入症例)の情報を共有した。今回の麻疹発生はこの症例以降4年振りではあるが、その間も疑い患者に対応することにより麻疹対応力を維持してきた。実は、今回の流行の直前に那覇市内で麻疹検査陽性例が確認されて緊張した経験がある。幸い、遺伝子検査でワクチン株由来であり、感染拡大リスクはないことが判明し、対応終了となっていた。

以上のように、那覇市保健所は麻疹対応体制と能力を強化維持して準備していた。

以下に対策の柱と柱のひとつである積極的疫学調査について概説する。

【対策の柱】

麻疹対策の第一の柱はワクチンである。平時のワクチン接種も大切だが、流行時においても感染拡大を防ぐ最強のツールとなる。第二の柱は麻疹患者の早期発見と早期の接触制限で、第三の柱が積極的疫学調査と言われるものである。前二つの柱の主役は医療現場だが、第三の柱の主役は保健所となる。

【積極的疫学調査】

麻疹に限らず、感染症対策において保健所が最優先で取り組む調査である。

この調査では、麻疹の感染拡大を防ぐために、患者、接触者（患者と接した方）、感受性者（麻疹に対する免疫が不十分の方）を確認し、感染性のある期間の自宅安静、外出自粛、健康観察等を依頼する。感受性者には、緊急ワクチン接種あるいは緊急 γ グロブリン投与を検討し、医療施設に実施を依頼する。

対策も兼ねたこの調査により、基本再生産数（ R_0 ）（ひとりの感染者が何人に感染させるか、感染力の指数）を減少させることができる。麻疹の R_0 は12~18と言われており、感染症の中では最高レベルの感染力とされている。これを1未満に減少させれば、理論的には感染は収束に向かう。

この調査で最も大切なことは聞き取りの精度である。調査員は聞き取りに時間とスキルを使う。場合によっては1時間以上かけることもある。

2. 初発患者発生（健康危機レベル1）

3月20日10:25、沖縄県地域保健課（県）より麻疹疑い患者発生のメール報告があった。2018年では5例目の疑い患者で、台湾からの旅行者、中部保健所管内での発生、という限られた情報であった。那覇市保健所では通常レベル（健康危機レベル1：資料1-②③）として保健総務課・結核感染症グループ（G）の中の感染症Gが対応した。この時点では、緊急対応すべき事項は特に無かったが、台湾の麻疹流行状況について情報収集した。その結果、台湾では今年になって麻疹発生がないことを確認していた。

18:52、県よりメール報告あり。沖縄県衛生環境研究所（衛研）での遺伝子検査（PCR検査）の結果、この患者は麻疹陽性であることが確認された。この情報は19:00に感染症G内でLINE共有した。19:59には、患者行動歴等の詳細情報のメール報告あり、17日から18日朝にかけて、那覇市内で多数の訪問施設があることが判明。このメールは県内救急告示病院や沖縄県医師会等の関係者にも通知されていた。

21:45までに、患者市内宿泊施設を電話調査し、宿泊客に緊急ワクチン接種対象者がいないことを確認した。

翌21日は休日であったが9:00に参集し、保健所長（所長）出席のもと緊急G会議を開催した。会議では情報確認と積極的疫学調査の具体的内容が確認された。会議後、保

健所健康危機管理対策連絡委員（所内委員）に現状報告し共有した（10:41、所内第1報：以後17報まで、資料5参照）。患者宿泊施設には直接訪問して従業員の健康観察を依頼するとともに、宿泊客にはGスタッフが直接電話して健康観察等を実施した。

22日は、市内関係機関に注意喚起を行うとともに、関係課を通じて、特に乳幼児へのワクチン接種勧奨を依頼した。また患者市内訪問施設にGスタッフが直接訪問し、接触者リスト作成と健康観察を依頼した。14:27には県より初発患者の遺伝子型検査（シーケンス解析）の結果がD型と報告され、ワクチン株ではなく野生株（主に東南アジアで流行）であることが最終確定した。

23日には、Gスタッフによる患者訪問施設訪問が全て終了し（計7箇所）、29日までに73名の健康観察者を確認した。23日10:29には、那覇市庁舎内を含めた那覇市健康危機管理対策連絡委員（庁内委員）に現状報告し共有した（庁内第1報）。この日までに、患者市内訪問施設並びに接触者に対する全ての積極的疫学調査を完了した。

26日には、前記宿泊客のうち石垣島居住者について管轄の八重山保健所に情報提供した。同日、初発患者は感染性の低い修飾麻疹ではなく、感染性の高い典型麻疹であることが判明。二次感染者が多数発生することが想定されたため、問合せに備えて麻疹Q&A作成に着手した。

28日には、那覇市居住の二次感染疑い患者が南部保健所管轄の医療機関で発生したが、PCR検査の結果、麻疹ではなかった。

初発患者発生から二次感染者発生までの期間、市内医療機関への注意喚起と情報提供は既存のルートで行った。すなわち、県からの通知をそのまま那覇市医師会、救急告示病院、一部個別医療機関にメール転送するルートである。市民向け広報についても従来通り、那覇市保健所のホームページとFacebookに、麻疹に関する一般情報とともに県からの通知をそのまま掲載した。

3. 二次感染者発生（健康危機レベル2）

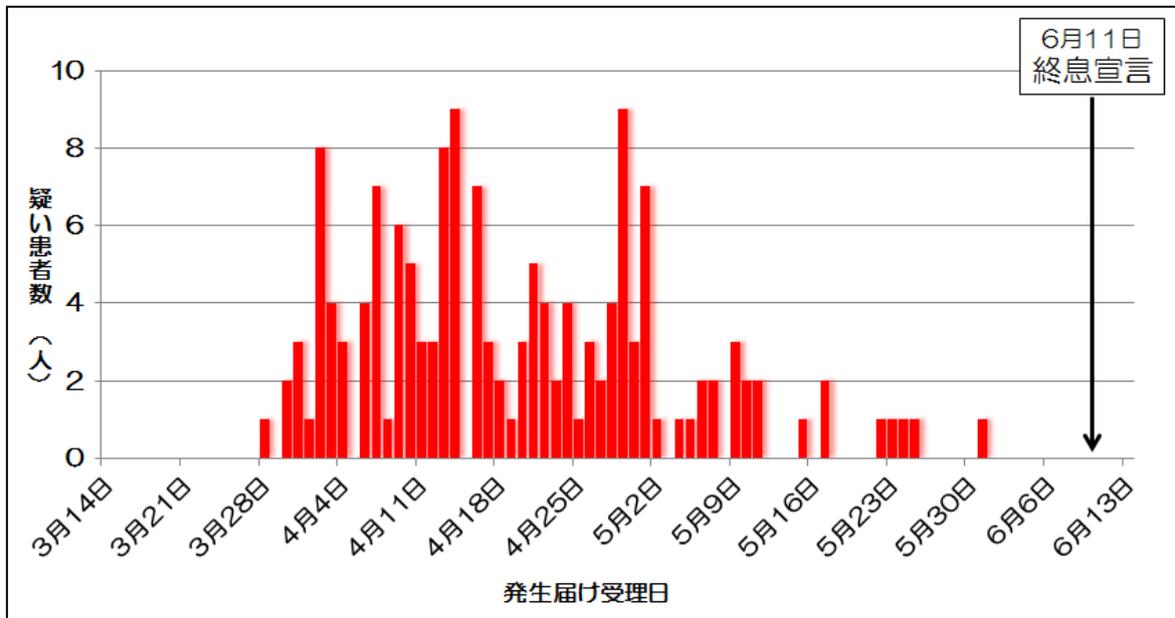
【流行第1波襲来】

3月28日以降、那覇市居住者あるいは那覇市内医療機関において麻疹疑い患者が発生した（図2）。初発患者の那覇市滞在日（17日～18日朝）と麻疹潜伏期間（10～12日）から、発生が想定されていた時期である。

29日11:34、県より二次感染者2例発生のメール報告があった。いずれも那覇市外での発生、あるいは那覇市外居住者であった。しかし、最初の二次感染者は、那覇市保健所から八重山保健所に情報提供（前記）した接触者であった。この患者は八重山保健所による健康観察下にあり、発熱後、早期に医療機関を受診して麻疹と診断されたことから、この患者からの三次感染のリスクは極めて低く抑えられたと考えられた（＝良好なリスク管理）。実際、石垣島ではその後の感染拡大は無かったことから、県～那覇市

保健所～八重山保健所間の連携が奏功した事例と思われた。

図2 那覇市が対応した麻疹疑い患者数の推移（計149人）



県内での二次感染者発生を受けて健康危機レベルを2に引き上げるとともに、同日11:44には庁内委員に情報提供した（庁内第2報）。さらに市上層部への情報提供も行った。同日17:49には所内委員に情報提供するとともに、所内応援を依頼した（所内第5報）。この時点で、2016年（関西国際空港）と2017年（山形県）の麻疹集団感染と同規模の集団感染になる可能性が示唆された。麻疹対応を優先するため、4月以降のHIV性感染症即日検査（通常業務）については午前中のみ予約とした。

30日9:00に、那覇市保健所健康危機管理対策連絡会議を緊急開催。所内応援体制を構築した。具体的には検体搬送業務を保健総務Gで、麻疹に関する一般的な電話相談を健康増進課で対応することになった。同日昼には、完成したQ&Aが健康増進課に共有された。また、検体搬送実施要領も作成された。この日、那覇市内医療機関で初めての二次感染疑い患者1例が発生。また、那覇市居住の疑い患者1例が南部保健所管轄の医療機関でも発生。麻疹対応を優先するため、感染症Gの食中毒検査対応を停止し、生活衛生課から外部委託検査することになった（生活衛生課による間接的支援）。

31日(土)朝、前日に発生した疑い患者の接触者の中に多数の緊急ワクチン接種対象者がいることが判明。Gスタッフが緊急接種に対応できる医療機関を探すも見つからず。急遽、那覇市医師会（市医師会）に協力医療機関リスト作成を依頼。市医師会の迅速な対応により夕方過ぎには暫定リストが完成した。

この間、県より12:01と17:31に、前日の疑い患者2例がそれぞれPCR検査で麻疹陽性との報告あり。緊急ワクチン接種実施に必要な結果報告は17:31と夕刻であった

め、暫定リストにあった医療機関は診療時間外で残念ながら対応できず。急遽、那覇市立病院に依頼し、同日中に5名の対象者に緊急ワクチン接種を実施していただいた。以後、終息まで、麻疹患者の濃厚接触者に対する緊急ワクチン接種は25例、緊急γグロブリン製剤投与は5例であった。なお、その後、この方々からの麻疹発生はなかった。

4. 二次感染者多発（健康危機レベル3）

【流行第1波ピークへ】

4月1日(日)にも那覇市居住の麻疹患者が2名確認された。市内で複数の患者が確認されたことから保健所全課対応が必要と判断し、健康危機レベルを3に引き上げ（庁内第4報、所内第7報）、那覇市保健所健康危機管理対策本部が自動的に設置された。以降、108号室（結核感染症G室）において毎朝夕、定例会議が開催された（図3）。

この頃から麻疹疑い患者が急増した（図2）。そのため、既に午前中のみに制限していたHIV性感染症即日検査を完全に停止することとした（予約済み分は実施）。

図3 朝の定例会議風景（夕方にも定例会議あり）



所長、結核感染症Gによる毎朝の定例ミーティング風景。この日は、国立感染症研究所（感染研）からの応援2名も参加。

ホワイトボードには対応クロノロジーと症例進捗管理表を掲示している。

2日11時には沖縄県麻疹対策会議が急遽開催され、その内容は午後の報告会で所内委員に、そしてメールにより庁内委員に共有された（庁内第5報）。県は、二次感染者の多発と疑い患者の増加を受け、初期封じ込めの段階は過ぎ、次の感染拡大阻止・健康被害の最小化の段階に入ったと判断していた。すなわち、封じ込めに多大な労力を集中させる段階ではなく、マンパワーに応じた効率の良い対応をする段階である。衛研は、この日以降、それまで1日複数回検査していたのを1日1回に集約した。

那覇市保健所も同様の見解で、多大な労力を集中していた積極的疫学調査をこの日から縮小した。具体的には、緊急ワクチン接種対象者と重点健康観察集団に疫学調査対象を絞り込んだ。

同日夜には「はしか0プロジェクト」の第1回緊急会議が開催された。

3日からは、保健総務Gによる衛研までの検体搬送業務支援が実際に開始された。同日以降、庁内第5報からの所内庁内報告メールを市医師会に転送し共有した。また、この日、県は「沖縄県麻疹発生時対応ガイドライン」における「レベル3」を宣言した。

4日早朝に、県のレベル3宣言を所内・庁内委員に通知（庁内第6報＝所内第9報）した。この通知から所内庁内同報とした。同夕の庁内第7報からは麻疹流行曲線を添付した。

4日11時からの緊急所内会議では「乳幼児への予防接種勧奨強化策」が決定された。具体的には、1)ワクチン在庫の確認（ワクチンの確保）、2)MR1期対象児（2,534人）に対するハガキでの至急の接種勧奨、3) MR2期対象児（4,089人）に対するハガキでの接種勧奨（6月以降）、4)行政措置による0歳児へのワクチン接種勧奨等である。

5日9時からの緊急所内会議では、これまで感染症Gの代わりに健康増進課が対応していた麻疹に関する一般的な電話相談を、地域保健課が対応することが決定された。また、成人に対する麻疹の予防接種に関する電話相談については保健総務Gが対応することとなった。これにより健康増進課は予防接種勧奨業務に集中することができた。地域保健課には、さらに麻疹患者の接触者への聞き取りと健康観察についても支援することが決定された。

6日には、「麻疹に関する特定感染症予防指針 第3-四-5」（資料1-①）及び「感染症危機管理人材養成事業における実地疫学調査協力に関する実施要領」に基づき、感染研に専門家職員の派遣を依頼した。目的は「麻疹流行の全体像、感染源・感染経路、リスク因子を明らかにし、今後の対策への助言をいただくこと」である。

同日、前述の「乳幼児への予防接種勧奨強化策」が開始されるとともに、記者会見等を通じて市民及び医療関係者に広報した（図4、資料9）。県内で二次感染者が確認されてから1週間足らずのスピードであった。この対策が開始されたことから、緊急ワクチン接種対象者には、検査診断を待たずに臨床診断がついた時点で接種勧奨することとした。

図4 記者会見風景（那覇市保健所：4月6日）



前列左より、健康増進課長、参事、所長、健康部部長、健康部副部长兼保健総務課長

当日配付した主要資料が資料9

7日(土)には、感染研の専門家2名が派遣され、以後、14日(土)まで連日常駐した。流行の第2波がピークであったこの時期、質・量ともに充実した支援によりスタッフを支えていただいた。具体的には、1)感染者への再聞き取り調査、2)同調査に基づく精度の高いリスク評価、3)関連図の作成、4)感染源と思われる地点・施設一覧表の作成、5)市民向け広報のための特設WEBサイトのコンテンツ作成、6)患者調査票の再評価と改善、7)過去の事例に基づく修飾麻疹のリスク評価、8)同評価に基づく修飾麻疹と典型麻疹への対応フロー作成、等である。

【三次感染発生：流行第2波へ】

4月7日(土)20:24、県より三次感染確認がメール報告された。この時点で、那覇市では累計の麻疹患者数が14人、疑い患者数が30人を超えていた。良い情報としては、初発患者の市内接触者73名の健康観察がこの日で終了した。

8日(日)には、三次感染発生を所内・庁内委員に通知（庁内第8報＝所内第11報）した。

9日には、修飾麻疹のリスク評価に基づき、典型麻疹に重点をおいた疫学調査にシフトした。また、緊急課長会議が開催され、予防接種に関する市民・医療機関からの相談急増への対策等が協議された。

11日には、感染研の専門家の協力を得て市民向け特設WEBサイトを開設した。また、那覇市保健所の今後の積極的疫学調査方針が決定された。要約すると感染リスクに応じた対応で、1)聞き取り時点で典型麻疹濃厚の場合、これまで通りの対応、2)修飾麻疹の可能性が高い場合、濃厚接触者を重点的に、というものである。

この日から、県地域保健課による「沖縄麻疹express」（日報）が関係者にメール配信されるようになった。

13日には、前記の方針に基づいた新たな「麻疹しん疑い発生時対応フローチャート」を作成し、市内医療機関に対応を依頼した（資料11）。同夜に開催された市医師会理事會において、流行の現状を報告するとともに、本チャートに基づく対応を改めて依頼した。この対応では、夜間発生時の保健所への連絡を翌朝一括で、さらに行動履歴を疑い患者自身に記入していただくことが盛り込まれていた。これにより、スタッフの夜間対応と聞き取りについての負担が大きく軽減された。

14日(土)には、感染研専門家の協力を得て患者調査票（聞き取り調査に使用）新様式が完成（資料11）。これにより聞き取り時間の短縮と精度向上を図った。

16日、スタッフの業務量が限界に達したと判断。対応の柱である積極的疫学調査を最優先するべく、行政検査のための検体回収業務の削減に着手。この業務は保健所スタッフが医療機関まで出向いて検体を受取り、保健所に持ち帰り、衛研への搬送まで保管するものである。1医療機関あたり往復約1時間かかるため、疑い患者が発生した医療機関が多ければ多いほど負担が大きくなる。この業務を医療機関側に負担していただ

ければ、保健所スタッフは積極的疫学調査にかける時間を確保できる。市内4つの救急告示病院にこの業務を依頼したところ、急な依頼にも関わらず即諾いただいた。

17日からは、病院側スタッフにより保健所まで麻疹検体を搬送するシステムが開始された。後日、救急告示病院以外の1病院にも同様に対応いただけるようになった。医院・クリニックからの検体についても、その後依頼が増えるようであれば、市医師会の受託検査業務における検体回収システムの活用を検討することとした。

18日夕、那覇市長来室。激励とねぎらいをいただく。

19日、この頃から、疑い患者数は変わらないものの、那覇市居住者の麻疹発生が減少する傾向が見られた（庁内第9報、図1&2）。流行開始後、この日の検査は陽性が初めてゼロ（全県）となった。なお、この頃には、地域保健課に依頼していた麻疹患者の接触者への聞き取りと健康観察については、実質的に終了していた。

【流行第3波～終息へ】

発熱日からみると、恐らく4月20日頃から第3波が始まっていた。振り返ってみると、那覇市居住者での第3波の麻疹患者は散発的であった。17日時点で那覇市保健所の麻疹対策は、連携体制と連携対応ともに大きく更新されており、第3波に対しても（第2波を超えない限り）準備は整っていた。

4月25日に沖縄県健康危機管理対策委員会と沖縄県内の麻疹発生に係る保健所など感染症担当班長及び担当者会議が開催された。後者の会議では、流行の長期化と5月の大型連休による感染拡大リスクを考慮し、衛研での麻疹検査の中止等も協議された。しかし、休日中の検査を一時停止するものの、これまでとほぼ同じ態勢で臨むこととなった。また、同会議では那覇市の「麻疹疑い発生時対応フローチャート」や検体回収システムが評価され、他の保健所でも導入が検討されることとなった。

27日、那覇市では終息傾向にあったものの、救急告示病院に対しては引き続き慎重な対応を再確認いただいた。

28日（土）、麻疹疑い患者が受診を断られる事例が発生。市医師会に対応を依頼したところ、速やかに「麻疹対応医療機関リスト」が作成され、以後、有効活用された。

30日（休日）、この頃、麻疹の症例定義を満たさない疑い患者が散見されるようになったため、救急告示病院に適正な行政検査への協力を依頼した。この日、前夜からの分も含めて1日あたりの対応件数は12件と、今回の経過中最多を記録した。

5月2日、この頃、県内では麻疹抗体検査数が増加しており、安価な検査キットの在庫及び供給がなくなり、検査受託を一時中止する業者もあった。この日より、那覇市保健所では、中止していたHIV性感染症即日検査を午前中限定で再開した。

7日、大型連休による感染拡大リスクについては引き続き警戒を要するものの、那覇市での第3波が第2波に比べて激減していたこと（図1）、疑い患者数も明らかな減少傾向にあったことから終息期の段階にあると判断していた。そういった状況の中で、翌

8日に典型麻疹患者が確認され緊張が走った。

9日、県も終息段階にあると判断していることが報道された（沖縄タイムス）。これを受けて健康危機レベルを3から2にダウンした（庁内第10報）。

13日(日)、毎年恒例のはしか・風しん0キャンペーン週間セレモニーが実施された。例年は保育園児による演舞があったが、今回は街頭啓発に変更し、国際通りをデモ行進した。那覇市保健所ではキャンペーン週間の取組みとして、セレモニーに参加するとともに保健所ロビーでパネル展示を実施した。

21日、那覇市では大型連休による感染拡大リスクを認めないこと、8日に確認された典型麻疹患者からの感染拡大もないこと、第4波を認めないこと等より健康危機レベルを1にした（庁内第12報）。

29日、県は6月11日に麻疹流行の終息宣言が出せるよう慎重に準備していることを公表（庁内第13報）。

6月2日(日)、麻疹患者の市内最終接触者の健康観察期間（3週間）が終了。

6月11日、県が麻疹流行の終息を宣言（図5、資料3）。

図5 終息宣言・記者会見風景（沖縄県庁：6月11日）



【予防接種】

前記通り、麻疹対策の第一の柱はワクチンである。流行時においても感染拡大を防ぐ最強のツールである。

4月6日：記者会見「麻しん（はしか）予防接種対応の強化について」（資料9）

4月9日：特設WEBサイト「麻しん発生による緊急の予防接種について」を開設。

4月10日：行政措置対象者宛て、接種勧奨ハガキ送付。

発送件数：第1期1,546件、第2期1,866件、接種歴なし2,258件、計5,670件

4月11日：関係課スタッフを交えて、4月定例保育所長会と第1回こども園教頭・

幼稚園主任連絡会において、「麻疹対応と保育士等のみなさんの予防接種勧奨」を説明するとともに協力を要請。

5月1日：助成方法を変更

「接種費用の払い戻し」から「医療機関での無料化実施」へ

6月21日時点：4～5月の接種率・数（母数は変動している）

行政措置：乳児（6ヶ月～12ヶ月未満）：41.8%（980/2,342）

行政措置：定期未接種児：11.2%（576/5,155）

定期接種：第1期：8.6%（264/3,060）、第2期：61.3%（2,079/3,391）

【広報について】

広報については発生から終息まで次のように対応した。今回の麻疹流行に際して4月9日から11日にかけて特設WEBサイトを開設した。それまでは常設サイトで沖縄県のプレスリリースを都度広報していた。さらに、特設サイトへリンクするバナーを那覇市ホームページのトップページ左上に掲載し（資料10：図10-1）、アクセス性を確保した。図10-1で「麻疹(はしか)の流行は終息しました」とある箇所は、終息前は「那覇市における麻疹の発生について」であった。

「那覇市における麻疹の発生について」の特設サイトでは、沖縄県の麻疹発生状況を那覇市独自にグラフ化し、さらに那覇市居住者の割合が分かるような情報を、市民向けに適時発信した（資料10：図10-2）。また、感染拡大を防ぐための情報や、保健所が取り組んでいる内容を紹介した。

「麻疹発生による緊急の予防接種について」の特設サイトでは、感染拡大を防ぐために最も大切な麻疹含有ワクチンの緊急接種や無償化に関する情報等を掲載した（資料10：図10-3）。

ホームページに加えて、那覇市保健所のFacebookでも、発生状況や予防接種等に関する情報を適時広報した（資料10：図10-4）。

Ⅳ 課題と今後の対策（Check & Act）

那覇市指針（資料1-②）の第2と第3の各プロセスに沿って報告する（プロセスアプローチ）。

1. 準備期

① 中規模あるいは大規模アウトブレイクに対する再準備が必要。

単発～小規模アウトブレイクに対する準備は整っていたが、今回のような中規模あるいは大規模アウトブレイクに対する準備は整っていたとは言えない。詳細は以下の各項で。

2. 健康危機情報の収集と伝達及び提供

② 情報の収集については特に問題なかった。

③ 平時連絡網とは別に有事の際の緊急連絡網整備が必要。

情報の伝達と提供については、所内～庁内においては特に問題なかったが、市医師会との間では、初期に問題があった。機密性・完全性・可用性の3要素に加えて、迅速性と伝達性を確保した緊急連絡網が必要と考える。ホットライン、一斉FAX、メーリングリスト、LINEリスト等の活用を検討したい。

④ 積極的な情報提供が必要。

有事の際には、対応する仲間（関係機関）との情報共有は必須である。今回、4月2日までは、県からの情報を医療現場に仲介通知するだけで、市医師会には保健所の情報を積極的には提供していなかった。3日以降は、所内・庁内向け回覧情報も含めて積極的に提供した。しかし、少なくとも健康危機レベル2となった3月29日から積極的に提供し共有に努めるべきであった。

3. 連絡

前項とほぼ同義のため省略。

4. 健康危機レベルの設定

⑤ 特に問題なかった。

状況に応じてレベルをアップダウンした。その際の判断には問題なかったと考える。現時点では、麻疹初発例が確認されてもレベル1だが、典型麻疹で接触者多数の場合は、その時点でレベル2としても良いかもしれない。今後の検討課題である。また、ピーク時にはレベル4として全庁体制であたるべきではなかったか、との意見があった。しかし、全庁で業務継続計画（BCP）を発動する必要はなかったこともあり、レベル4とはしなかった。なお、県も全庁的対策本部を設置するなどの全庁体制はとっていなかった。

5. 対応

⑥ 人員調整（特に積極的疫学調査員と広報担当）が必要。

Ⅲにあるように、今回は担当G（感染症G）の業務を一部停止、一部他課依頼、一部応援（感染研スタッフ2名）により乗り切った。業務の一部停止とはHIV性感染症即日検査の縮小～停止で、一部他課依頼とは麻疹一般相談業務と一部聞き取り・健康観察業務の健康増進課や地域保健課への依頼である。同じ課の保健総務Gには検体搬送業務を一時期全面的に、また一部相談業務をそれぞれ依頼した。医療機関からの検体回収業務は外部（病院スタッフ）に依頼した。

それでも最盛期には、積極的疫学調査、特に初動の聞き取り調査にあたるスタッフが足りなかった。経験とスキルが必要なため、G内でもバックアップは難しかった。解決策として、経験とスキルのある他課あるいは他部のスタッフの短期的（2～3日でもいい）応援が望ましい。その間、スタッフを休ませることができる。

また、後記するが、今回、市民向け広報が後手に回った（予防接種の広報を除く）。那覇市新型インフルエンザ等対策行動計画では、広報について主要6項目のひとつとして「発生時には、国内外の発生状況、対策の実施状況等について、多様な媒体を用いて、迅速かつ分かりやすく、市対策本部において一元的に発信します。」とされている。これを実行するには感染症・広報・ITに長けたスタッフがほぼ専念する必要がある。現状は、今回の現場統括担当が、統括業務の合間に広報案を作成し、WEB担当（上述の聞き取りスタッフ）にアップロードを依頼して実施している。広報専門官が必要であるが人的・予算的には難しい。今後の検討課題である。

⑦ 細かいPDCAが今後も必要。

今回、対応中に患者調査票や対応フローチャートを更新し、進捗管理表を新規作成する等、細かくPDCAを回すことができた。今後も状況に応じた対応が必要である。感染症業務のBCPについてはうまく運用できたが、結核業務のBCPではどの業務を縮小して感染症業務のヘルプに入るのか、改善の余地がある。

6. 対策本部の設置

⑧ はっきりと設置し、議事録等も作成するべきであった。

健康危機レベル3に引き上げた際、実質的には設置されていたが、対策本部であることが明示されていなかった。また、議事録も作成されていなかった。

7. 医療の確保

⑨ 麻疹診療経験のある医療機関の事前把握が望ましい。

今回は、対応中に麻疹対応医療機関リストを急遽作成したが、事前に把握しておくことが望ましい。

8. 検査

⑩ 検体搬送の負担以外は、特に問題なかった。

那覇市指針（資料1-②）では、「保健所内で検査が可能な検体については、所内において検査を実施する」とあるが、現状では麻疹検査はできない。衛研に検査を委託し実施している現状である。衛研までの検体搬送には往復2時間かかり、人的にも時間的にも負担が大きかった。麻疹も含めて、那覇市保健所での検査項目を増やす方向性が良いのか、戦略的検討が必要である。

9. 応援要請

⑪ 今後も積極的に応援要請を検討するべき。

那覇市指針（資料1-②）では、「（前略）本市の関係部局及び関係機関等に対し応援を要請する」「必要に応じ沖縄県に対し、職員派遣等の応援を依頼する」とある。今回は、感染研に応援依頼し、2名を派遣いただいた。この人的応援は現地スタッフの負担軽減に大きく貢献した。⑥にもあるように、他課あるいは他部のスタッフによる短期的応援を積極的に検討するべきである。

10. 広報

⑫ 人員調整（広報担当）が必要。

⑥にもあるように、広報担当の人員調整が必要である。専任が望ましいが、今後の検討課題である。

11. 患者等に対する精神的ケアの実施

⑬ 特に問題なかったが、致死率の高い感染症患者等に対する準備が必要。

今回は幸い重症例がなかったため、特別な精神的ケアは必要なかった。一方で、患者あるいは疑い患者が発生した保育園スタッフへのケアは必要であった。これまでは単発であったため、現地に訪問し、直接説明会等で対応できていた。しかし、今回は多発であったため、直接ケアができず、電話での間接ケアで対応せざるを得なかった。新型インフルエンザ等、致死率の高い感染症患者等への精神的ケアについては、対応マニュアル等の事前の準備が必要である。

12. 事後の評価

⑭ 本章Ⅳ自体が事後の内部評価である。

今後、本報告書に対して、所内外の関係者にアンケート調査を予定している。調査により、今回の麻疹対応をさらに評価していただき、所内外の意見・助言等を集約した上で、今後の対策（Plan）に反映することにより次のPDCAにつなげたい。

参考資料

1	根拠法等（抜粋）	19
2	沖縄県プレスリリース（第1報：2018年3月23日）	24
3	沖縄県終息宣言記者会見資料（6月11日）	25
4	那覇市保健所麻疹対応経過表（3月20日～6月11日）	28
5	那覇市保健所所内・庁内情報共有メール（第1～17報）	43
6	庁内第5報添付資料（麻疹に関する一般的解説）	59
7	対応クロノロジー（那覇市No.1～149）	61
8	症例進捗管理表	64
9	那覇市保健所記者会見資料（4月6日）	65
10	広報（ホームページ&Facebook画像）	68
11	麻疹対応用の更新成果物	70

1. 根拠法等（抜粋）

① 麻しんに関する特定感染症予防指針（平成28年一部改正）

第2 原因の究明

三 麻しんの届出基準

麻しんを診断した医師の届出については、法第12条に基づき、診断後直ちに行うこととされている。また、我が国における麻しん患者の発生数が大幅に減少したことを踏まえ、風しん等の類似の症状を呈する疾病と正確に見分けるためには、病原体を確認することが不可欠であることから、原則として全例に検査の実施を求めるものとする。しかしながら、迅速な行政対応を行うため、臨床診断をした時点でまず臨床診断例として届出を行うとともに、血清IgM抗体検査等の血清抗体価の測定の実施と、都道府県等が設置する地方衛生研究所でのウイルス遺伝子検査等の実施のための検体の提出を求めるものとする。（後略）

四 日本医師会との協力

五 麻しん発生時の迅速な対応

都道府県等は、麻しんの患者が1例でも発生した場合に法第15条に規定する感染経路の把握等の調査を迅速に実施するよう努めることが必要であり、普段から医療機関等の関係機関とのネットワーク構築に努めるものとする。（後略）

第3 発生の予防及びまん延の防止

二 基本的考え方

感染力が非常に強い麻しんの対策として、最も有効なのは、その発生の予防である。そのため、定期の予防接種により対象者の95パーセント以上が2回の接種を完了することが重要であり、また、これまで、未接種の者や1回しか接種していない者に対しては、引き続き、幅広く麻しんの性質等を伝え、必要に応じ、予防接種を受けるよう働きかけることが必要である。

三 予防接種法に基づく予防接種の一層の充実

四 予防接種法に基づかない予防接種の推奨

② 那覇市健康危機管理基本指針

(平成25年3月25日市長決裁、平成28年5月13日改正)

第1 総則

3 保健所の役割

保健所は、地域における健康危機管理の拠点として、平常時における監視業務等を通じて健康危機の発生を未然に防止するよう努めるとともに、健康危機が発生したときは、その規模を把握し、関係機関等との調整を図り、健康危機管理の中核的な役割を担うものとする。

第2 平常時における健康危機管理

- 1 健康危機発生の未然防止
- 2 地域の健康被害の発生のおそれの把握
- 3 健康危機管理体制の整備
- 4 関係機関との連携
- 5 予防教育・指導
- 6 本市外で発生した健康危機への対応

第3 発生時における健康危機管理

- 1 健康危機情報の収集と伝達及び提供
- 2 連絡
- 3 健康危機レベルの設定
- 4 対応
- 5 対策本部の設置
- 6 医療の確保
- 7 検査
- 8 応援要請
- 9 広報
- 10 患者等に対する精神的ケアの実施
- 11 事後の評価

那覇市健康危機管理基本指針 別表（第3の3の（1）関係）

健康危機レベル及び対策本部設置等の判定基準

レベル	発生例	対応体制	対策本部	報告	報道機関への説明
レベル1 通称 グリーン	発生が小規模である（散発例） 周辺地域への影響はない 原因の特定がある程度可能である 重症例がほとんど無い場合	平常勤務体制 の中で 担当課で対応		関係課長→ 保健所長	関係課長 保健所長
レベル2 通称 イエロー	施設等での集団発生 周辺地域への影響は想定されない 原因がはっきりしない	平常勤務体制 の中で 複数担当課で 対応		保健所長→ 健康部長→ 副市長及び 市長	関係課長 保健所長
レベル3 通称 オレンジ	集団発生例が周辺地域へ被害の拡大 散発発生が市内で広域に発生 国内・県内で発生例のない散発事例	平常勤務体制 を基本に 保健所全体で 対応	保健所対 策本部	保健所長→ 健康部長→ 副市長及び 市長	保健所長 健康部長
レベル4 通称 レッド	大規模集団発生例で広域拡大 国内・県内で発生例のない集団発生事 例 全国的に社会問題となるような事例	保健所全職員 及び市関係職 員を直ちに招 集して対応	那覇市危 機管理対 策本部	保健所長→ 健康部長→ 副市長及び 市長	保健所長 健康部長

③ 那覇市保健所健康危機管理対策要綱

(平成 25 年 3 月 28 日健康保険局長決裁、平成 29 年 3 月 25 日改正)

(目的)

第 1 条 この要綱は、那覇市健康危機管理基本指針に基づき、那覇市保健所における、迅速、かつ、適切な体制を確保するとともに、関係機関と連携し、被害の拡大防止を図るための必要な事項について定める。

(保健所健康危機管理対策委員会の設置及び所掌事務等)

第 2 条 保健所内における健康危機管理を総合的、組織的、機動的に推進するため、保健所健康危機管理対策委員会を置き、次の事項を所掌する。

(所内各課の役割)

第 4 条 各課は、健康被害情報に関し、市民の生命、健康に関わるものであるとの危機認識を持ち、予断することなく、科学的客観的な評価に努めること。

(保健所健康危機管理対策本部の設置)

第 5 条 保健所長は、健康危機がレベル 3 にあると判定した時は、保健所健康危機管理対策本部（以下「保健所対策本部」という）を速やかに設置する。

(那覇市健康危機管理対策連絡会議の開催等)

第 8 条 健康被害の発生に備え、平時から関係者及び関係機関との情報交換を行い、迅速、かつ、適切な即応体制を確保するため、那覇市健康危機管理対策連絡会議（以下、「連絡会議」という。）を開催する。

別表第 3（第 5 条関係） 保健所対策本部の体制及び分担業務

	情報班	調査班	検査班
分掌事務	(1) 被害状況及び応急対策、状況の情報収集・分析 (2) 関係機関との連絡調整 (3) 保健所長の指示による対策の実施	(1) 健康被害者(患者)調査 (2) 接触者調査 (3) 保健所長の指示による対策の実施	(1) 原因究明のための調査(検体採取等) (2) 保健所長の指示による対策の実施
担当課	レベル 1	担当課職員	担当課職員
	レベル 2	保健総務課	保健総務課
		健康増進課 生活衛生課	健康増進課 生活衛生課
	レベル 3 レベル 4	保健総務課 健康増進課 地域保健課 生活衛生課	保健総務課 健康増進課 地域保健課 生活衛生課
関係機関	沖縄県所管課 医療機関 消防等	原因施設	沖縄県衛生環境研究所
資料	関係機関リスト	個人調査表	検体採取記録

④ 那覇市健康危機管理対策連絡会議要綱

(平成 25 年 3 月 28 日健康保険局長決裁、平成 29 年 3 月 25 日改正)

(趣旨)

第 1 条 この要綱は、那覇市健康危機管理基本指針に基づき、那覇市健康危機管理対策連絡会議（以下「連絡会議」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第 2 条 健康危機管理に関わる那覇市関係各課（以下「関係各課」という。）との円滑な連携協力体制を確保するため、連絡会議を設置する。

(所掌事項)

第 3 条 連絡会議は、次に掲げる事項について協議する。

- (1) 健康危機の発生を未然に防止するための情報の共有化に関する事。
- (2) 健康危機の発生時における連携協力体制の構築、調整等に関する事。
- (3) その他健康危機管理に関する事。

(会議)

第 6 条 連絡会議は、会長が必要に応じて必要な構成員を招集する。

⑤ 那覇市感染症対策実施要綱

(平成 30 年 4 月 25 日 健康部長決裁)

3 平常時の対応

4 発生時の対応

(1) 発生の探知

(2) 対応方針の決定

(3) 積極的疫学調査（法第 15 条）

(4) 検体の採取等（第 16 条の 3、第 26 条の 3、4、第 44 条の 7）

5 集団発生時等の対応

8 関係機関、市民への情報提供

9 終息の確認

⑥ 麻疹発生時対応ガイドライン（国立感染症研究所）

省略

⑦ 沖縄県麻疹発生時対応ガイドライン

省略

⑧ 沖縄県麻疹発生全数把握実施要領

省略

⑨ 医療機関での麻疹対応ガイドライン（国立感染症研究所）

省略

⑩ 医療関係者のためのワクチンガイドライン（日本環境感染学会）

省略

⑪ 学校における麻疹対策ガイドライン（国立感染症研究所、他）

省略

2. 沖縄県プレスリリース（第1報：2018年3月23日）

平成30年3月23日（金）
 沖縄県保健医療部地域保健課 結核感染症班
 担当：山内、仁平
 電話：098-866-2215

マスコミ各位

麻疹（はしか）患者の発生について（注意喚起）

1 報道関係者の方へ

この度、本県では平成26年以来となる麻疹患者が報告されました。当該患者は、3月17日に台湾より来県し、3月19日まで沖縄本島内を移動しております。当該患者と接触した（同一空間を共有した）方は、麻疹に感染する可能性がありますので、各医療機関および県民へ注意喚起のため情報提供を行います。なお、麻疹ウイルスの空気中での生存期間は2時間以下とされており、現時点において当該患者が利用した施設等を利用されても、当該患者を原因とする麻疹ウイルスに感染することはありません。

また、感染症法の趣旨に則り、患者やその家族・関係者について、本人等が特定されることがないように、格段のご配慮をお願いします。

2 患者の情報

台湾在住、30代、男性。

【経過】

3/14（水）発熱。

3/17（土）台北より、タイガーエアー230便で、沖縄県へ移動。
 モノレールを利用し、那覇市内観光等。
 那覇市内ホテルで宿泊。

3/18（日）モノレールを利用し、レンタカー店へ移動。
 レンタカーを利用し、糸満市及び北谷町内を観光等。
 うるま市内ホテルで宿泊。

3/19（月）レンタカーを利用し、今帰仁村、名護市内及びうるま市内を観光等。
 発疹出現。夜間に自ら中部保健所管内医療機関を受診し、入院。

3/20（火）当該医療機関から中部保健所へ、麻疹及び風しん疑い患者報告。
 中部保健所から衛生環境研究所へ検査依頼し、検査の結果、麻疹/遺伝子陽性（風しんは陰性）。

3/22（木）衛生環境研究所が遺伝子解析を実施した結果、遺伝子型D8と判定。
 患者は当該医療機関を退院。中部保健所管内施設へ移動し、保健所の健康観察下で療養中。

3 県民の皆様へお願い

麻疹は、感染力が非常に強く、小児が感染すると肺炎、中耳炎、脳炎などの合併症を起こすことがある感染症です。
 麻疹患者と接触した場合は、接触後7～21日間の健康観察が必要となります。そのため、3月24日～4月9日に発熱、発疹等の症状が現れた場合は、必ず事前に医療機関に「麻疹かもかもしれない」ことを連絡のうえ、医療機関の指示に従い受診してください。

4 麻疹（はしか）について

原 因：麻疹ウイルス
 潜伏期間：10～12日
 主な症状：感染すると約10日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が出現。2～3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現。
 肺炎、中耳炎を合併しやすく、また、10万人に1人程度と頻度は高くないものの、麻疹ウイルスに感染後、特に学童期に亜急性硬化性全脳炎（SSPE）と呼ばれる中枢神経疾患を発症することがある。
 感染経路：空気感染（麻疹ウイルスの空気中での生存期間は2時間以下）
 感染症法：五類感染症
 予 防：予防接種が有効

麻疹に感染しないためには、予防接種が重要です。
 麻疹の定期予防接種（第1期：1歳、第2期：小学校入学前）がまだの方は、早めに予防接種（MRワクチン）を受けましょう。
 特に、4月から小学校に入学されるお子さん（第2期該当）で、予防接種がまだの方は、今月中に受けましょう。

また、定期予防接種以降でも、以下に該当しない方は、MRワクチンを受けましょう。

- 母子手帳などで麻疹ワクチンを2回以上受けた記録がある
- 過去に麻疹に罹ったことが確實である（検査で確認されたことがある）

3. 沖縄県終息宣言記者会見資料（6月11日）

麻しん（はしか）流行の終息宣言（記者会見）

資料1

日時：平成30年6月11日（月） 12:00～12:30

場所：県庁5階記者会見室

進行：保健医療部地域保健課

1. 会見者：6名（座席表：記者席から見て）

沖縄県 保健医療部 保健医療統括監 系数 公 いとかずとおる	沖縄ツーリズム 産業協議会会長 平良 朝敬 たいらちょうけ い	沖縄県 文化観光スポー ツ部長 嘉手苺 孝夫 かでかるたかお	沖縄県 保健医療部長 砂川 靖 すなかわやすし	はしか“O”プロ ジェクト委員会 委員長 具志 一男 ぐしかずお	那覇市保健所長 東 朝幸 あずまともゆき
--	---	--	----------------------------------	--	----------------------------

2 「麻しん（はしか）」流行のまとめ

1) 患者発生状況の概要

- ① 3月20日に確認され、その後感染が急激に広まり5月15日までに99名が感染
- ② 初発患者は台湾人観光客（タイにて感染）。
- ③ 感染した患者の70%がワクチン未接種、あるいは接種歴が不明
- ④ 30代の感染が31%と最も多く、患者の72%が20代から40代の成人
- ⑤ 保健所別の患者発生状況

北部22例、中部（台湾の1例を含む）26例、南部24例、那覇市24例、宮古2例、八重山保健所1例

- ⑥ 職業別には観光・接客業の方が最も多く、医療従事者も感染した。

2) 保健医療部の対策

- ① 医療機関からの「はしか」疑い事例の検査数：576例（うち検査診断例99例）
- ② 結果が出るまでの間、患者の外出自粛。陽性の場合、感染拡大防止を指導
- ③ 患者の行動歴調査、接触者の特定と健康状態の観察（約5,550名）
- ④ 6ヶ月～11ヶ月の乳児を守るため、緊急予防接種の補助
- ⑤ 定期予防接種等の推奨
- ⑥ 医薬品卸販売業者から、ワクチンの在庫状況、出荷状況を確認。
- ⑦ 患者の発生状況の公開と記者ブリーフィングを開催
- ⑧ 各種Q&Aの作成と医師会、観光部局との情報の共有。

3) 今後の取組み（ワクチン接種の推奨）

- ① 定期予防接種実施率向上に向けた対策の強化
- ② 定期予防接種未接種者への推奨
- ③ 医療従事者、児童福祉施設の職員、学校職員への推奨
- ④ 観光接客業の方および海外渡航者へ推奨

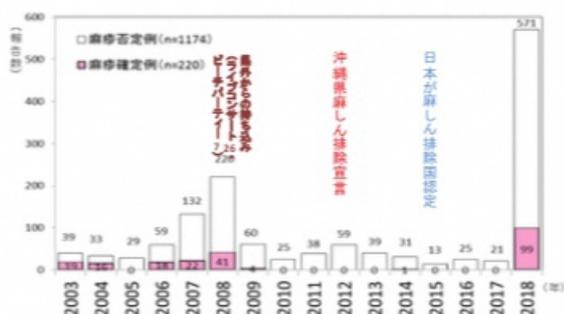
沖縄県における
麻しんの流行終息宣言
記者会見配付資料

平成30年6月11日
保健医療部地域保健課

沖縄県における
「麻しん(はしか)」流行の終息宣言

- ・ 本年3月20日に4年ぶりとなる「はしか」患者が報告されて以降、本日までに99人の患者が報告されました。
- ・ これまで、「はしか」の発生動向について監視を強化してきましたが、5月11日に医療機関を受診した患者を最後に4週間新たな患者が発生しておりません。よって今回の沖縄県における「はしか」の流行が終息したことを宣言いたします。
平成30年6月11日
沖縄県保健医療部長 砂川靖

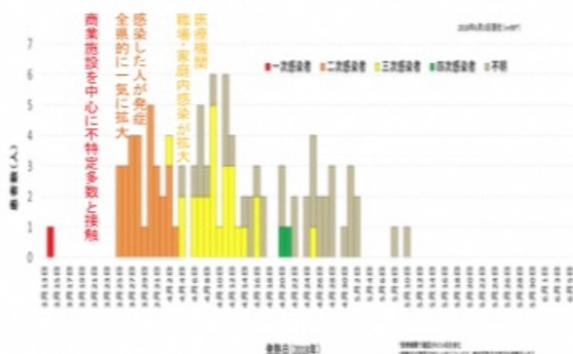
沖縄県の麻しん検査数・麻しん確定数
(2018年6月6日現在)



初発患者(台湾人観光客)

- ・ 3月14日:台湾で発熱(すでに麻しんを発症)
- ・ 3月17日:感染性が強い状態で来沖
- 那覇市、糸満市、北谷町、今帰仁村、名護市、うるま市等を観光
- ・ 3月19日:発疹が出現し夜間に医療機関を受診、その後入院
- ・ 3月20日:当該医療機関から中部保健所へ麻しん・風しん疑いの報告があり、衛生環境研究所にて検査を実施した結果、麻しん陽性が判明した(遺伝子型D8)

沖縄県 麻しん流行曲線(発熱日)



麻しん患者発生数(保健所別)

(2018/3/20-6/8)以降



4. 那覇市保健所麻疹対応経過表（3月20日～6月11日）

今回の主要な対応を時系列にまとめた。那覇市保健所から所内外に発信したもので、県からの通知の回覧等は一部を除き割愛した。

【全庁掲示板等】

月日	発信者	宛先	タイトル
3.22	保健所長	那覇市医師会等	麻疹患者の発生に伴う注意喚起について(情報提供)
3.23	保健所長	那覇市医師会等	麻疹(はしか)患者の発生について(情報提供)
	保健総務課長	全庁掲示板	麻疹(はしか)患者発生にかかる注意喚起(情報提供)
	健康増進課長	全庁掲示板 庁内関係3課	麻疹(はしか)患者の発生に伴う予防接種の勧奨について(周知依頼)
3.30	保健総務課長	全庁掲示板	【情報提供】麻疹(はしか)患者発生にかかる注意喚起(第二報)
4.2	保健総務課長	全庁掲示板	【情報提供】麻疹(はしか)患者発生にかかる注意喚起(第三報)
4.3	保健総務課長	全庁掲示板	【注意喚起】沖縄県の麻疹患者発生状況がレベル3になりました
	健康増進課長	庁内関係6課	麻疹(はしか)患者の発生に伴う予防接種の勧奨について(周知依頼)
4.4	保健総務課長	全庁掲示板	【情報提供】麻疹(はしか)患者発生にかかる注意喚起(第五報)
	健康増進課長	全庁掲示板 経済観光部長	麻疹(はしか)患者の発生に伴う予防接種の勧奨について(周知依頼)
4.5	保健所長	那覇市医師会等	麻疹(はしか)の予防接種体制整備について(通知)
4.6	保健所長	全庁掲示板	麻疹(はしか)患者の発生に伴う予防接種の勧奨について(周知依頼)
4.6	保健所長	各医療機関	0歳児のMR予防接種について(償還払い)
4.11	保健総務課長	全庁掲示板	【情報提供】麻疹(はしか)患者発生にかかる注意喚起(第六報)
4.13	保健所長	那覇市医師会等	行政措置対象者及び1歳未満の者のMR予防接種について
	保健所長	那覇市医師会等	麻疹疑い発生時対応フローについて(依頼)
4.17	保健所長	那覇市医師会等	麻疹流行の現状及び見通しに関する評価(リスク評価)と感受性接触者の緊急予防接種勧奨並びに疑事例検査の継続について
4.27	健康増進課長	那覇市医師会等	0歳児のMRワクチン等予防接種にかかる委託変更契約の締結について
6.13	保健総務課長	全庁掲示板	沖縄県における麻疹流行の終息宣言について

【保健総務課】

月日	曜日	時刻	あて先	出来事（四角囲い）・会議（太文字）・主要メールタイトル
3/20	火	10:26		麻疹疑い第1報
		18:52		麻疹初発患者確認
3/21	水	9:00		緊急グループ会議（所長出席）
	(休日)	10:41	所内	[健康危機レベル1] 取扱注意！麻疹輸入症例発生（第1報）
3/22	木	9:14	県	麻疹発生事例について
		9:50	中部保健所	麻疹患者について
		10:59	地域保健課	ワクチン接種勧奨依頼(Fw: [健康危機レベル1] 取扱注意！麻疹輸入症例発生（第1報）)
		13:12	所内	Re: [健康危機レベル1] 取扱注意！麻疹輸入症例発生（第1報）
		16:41	医師会	麻疹患者の発生に伴う注意喚起について（情報提供）
		16:55	ER	麻疹患者の発生に伴う注意喚起について（情報提供）
		16:56	個別医療機関	麻疹患者の発生に伴う注意喚起について（情報提供）
		17:26	県	Re: 麻疹のプレスリリース案について
		18:31	商店街組合	麻疹（はしか）患者発生に伴う注意喚起について（情報提供）
		18:50	G内	Re: Re: 麻疹発生事例について
		3/23	金	8:56
10:17	なはまち振興課			麻疹患者発生について
10:29	庁内			[健康危機レベル1] 取扱注意！麻疹輸入症例発生（庁内第1報）
14:22	なはまち振興課			麻疹患者発生について
14:40	医師会			麻疹患者の発生に伴う注意喚起について（情報提供）
14:46	個別医療機関			麻疹患者の発生に伴う注意喚起について（情報提供）
14:50	ER			麻疹患者の発生に伴う注意喚起について（情報提供）
17:01	医師会	麻疹（はしか）患者の発生について（情報提供）		
3/26	月	17:05	G内	[情報提供] Fw: Re: 修飾麻疹？
		17:34	G内	Fw: [情報提供] Fw: Re: 修飾麻疹？
3/27	火	8:58	所内	[健康危機レベル1] 取扱注意！麻疹輸入症例発生（第3報）
3/28	水	15:30	所内	[健康危機レベル1] 取扱注意！麻疹輸入症例発生（第4報）
		18:10	県	Re: Re: 麻疹検体出る予定です
3/29	木	11:34		麻疹二次感染確認（県内）
		11:44	庁内	【健康危機レベル2】 取扱注意！麻疹輸入症例発生（庁内第2報）
		11:55	部所課長	[お願い] 上層部への情報提供を
		16:28	G内	麻疹患者）調査施設の画像
		16:54	所内	スケジュール予約案内：緊急所内健康危機管理委員会
		17:38	G内	麻疹Q&A

		17:49	所内	【健康危機レベル2】 取扱注意！麻疹県内発生（第5報）
		18:20	南部保健所	Re: No.11 H30 麻疹全数把握調査(0328)について
3/30	金	9:00		緊急所内健康危機管理委員会
		10:31	G内	[情報提供] 台湾での麻疹対策状況
		12:49	予防接種 G	麻疹 Q&A について
		13:00	G内	Fw: 麻疹 Q&A について
		13:17	県	Re: 【お願い】台湾旅行者の麻疹患者への接触者調査について
3/31	土	8:20	医師会	麻疹（はしか）患者の発生について（第二報）（情報提供）
		8:24	個別医療機関	麻疹（はしか）患者の発生について（第二報）（情報提供）
		8:33	ER	麻疹（はしか）患者の発生について（第二報）（情報提供）
		11:30	県	緊急ワクチン接種体制について
		11:40	G内	ワクチン在庫状況
		12:01		麻疹二次感染確認（那覇市内）
		12:31	G内	那覇市の緊急ワクチン接種体制について
		13:21	所内	【健康危機レベル2】 取扱注意！麻疹市内発生（第6報）
		13:35	庁内	【健康危機レベル2】 取扱注意！麻疹市内症例発生（庁内第3報）
		15:18	G内	緊急ワクチン接種協力医療機関
		22:51		麻疹二次感染複数確認（那覇市内）
4/1	日	8:31	部所課長	Fw: 【緊急】麻疹対策会議の開催について
		10:00	G内	[共有] 市立病院対応状況
		10:23	個別医療機関	本日の緊急ワクチン接種について
		12:03	G内	[情報提供] 台湾麻疹情報
		15:55	庁内	★★★健康危機レベル3★★★取扱注意！麻疹市内多数発生（庁内第4報）
		15:59	所内	★★★健康危機レベル3★★★取扱注意！麻疹市内多数発生（第7報）
		16:16	医師会&ER	麻疹情報
		17:10	医師会	Fw: No.19-23 H30 麻疹全数把握調査(0401)について
4/2	月	8:07	医師会&ER	Fw: 【情報提供】麻疹関連；医療機関あて注意喚起
		8:30	予防接種 G	Fw: 患者発生地域のワクチン接種を積極的にしましょう
		11:00		沖縄県麻疹対策会議
		13:30		所内報告会：沖縄県麻疹対策会議
		14:27	医師会	[お願い] 再通知のご検討
		15:40	庁内	★★★健康危機レベル3★★★取扱注意！麻疹市内多数発生（庁内第5報）
		16:15	G内	緊急ワクチン接種協力施設状況
		16:24	所内	★★★健康危機レベル3★★★取扱注意！麻疹市内多数発生（第8報）

		17:30	医師会&ER	Fw: 【プレスリリース】麻しん患者発生状況更新
		19:30		はしかOプロジェクト 第1回緊急会議(所長出席)
4/3	火	10:33	医師会	Re: 麻疹に関する市民への対応について
		10:35	医師会	Re: Re: 麻疹に関する市民への対応について
		11:00		緊急所内会議
		11:38	医師会	Fw: ★★★健康危機レベル3★★★取扱注意! 麻疹市内多数発生(庁内第5報)
		11:47	医師会	現時点での緊急ワクチン接種協力施設
		12:36	部所課長	Fw: 【依頼】沖縄県麻しん発生時対応ガイドラインに基づく対応に
		12:42	医師会	Fw: 【依頼】沖縄県麻しん発生時対応ガイドラインに基づく対応に
		14:51	医師会	Re: Q&A(追加質問) 及び体制作りに関して
		15:12	感染研	[質問] 免疫抑制患者の麻疹緊急対応
		16:19	G内	Fw: 麻しん患者発生に伴う、MR予防接種等対策について
		16:44	G内	医療機関向け通知
		19:14	G内	ラインリスト
4/4	水	7:53	所庁内	★★★健康危機レベル3★★★取扱注意! 麻疹市内多数発生(庁内第6報=所内第9報)
		8:00	医師会	Re: Re: [質問] 免疫抑制患者の麻疹緊急対応
		8:08	医師会&ER	Fw: ★★★健康危機レベル3★★★取扱注意! 麻疹市内多数発生(庁内第6報=所内第9報)
		8:30	G内	接触者リスト・ストレッチャーについて
		9:46	医師会	Re: 麻疹の外来対応について
		11:46	G内	[情報提供] 麻疹エピカーブC18まで
		13:17	医師会	Fw: Re: Re: [質問] 免疫抑制患者の麻疹緊急対応
		17:46	医師会ML	Re: Q&A(2) 及び「プレスリリース」について
		18:27	医師会	Fw: 予防接種実施医療機関一覧について 沖縄県保健医療部地域保健課 山川
		19:19	所庁内	★★★健康危機レベル3★★★取扱注意! 麻疹市内多数発生(庁内第7報=所内第10報)
		19:26	医師会&ER	Fw: ★★★健康危機レベル3★★★取扱注意! 麻疹市内多数発生(庁内第7報=所内第10報)
		19:38	G内	【重要】担当割り振りについて
		19:45	G内	[情報提供] 台湾でも二次感染出ています
		20:45	南部保健所	【情報提供】麻しん接触者について
4/5	木	7:54	部長	緊急所内会議
		9:00		緊急所内会議
		9:57	所内	Fw: 6ヶ月~12か月未満の麻しん予防接種について
		10:37	医師会&ER	Fw: Fwd: 麻疹の注意喚起: 沖縄県での流行への対応
		11:42	医師会	新規ワクチン接種協力施設について
		15:03	医師会	Re: 新規ワクチン接種協力施設について

		15:35	医師会 ML	Re: 緊急接種等における契約や保証等について
		15:42	県	明日所長会見予定
		15:45	南部保健所	Fw: Fw: 麻しん Q&A について
		17:19	県	Re: 6ヶ月～12か月未満の麻しん予防接種について
		17:40	県	明日所長会見予定
		17:45	医師会 ML	Re: 緊急接種等における契約や保証等について
		19:25	中部保健所	Re: 【情報提供】麻しん患者の行動履歴について
		20:20	県	麻疹疑い3件(第1報・検査票) ※明日検体搬送予定です
4/6	金	7:19	南部保健所	Re: 麻しん疑い調査報告について
		9:43	医師会 ML	Re: ワクチンの接種間隔に関して
		10:10	G内	Re: Fw: Re: 緊急ワクチン対象者リスト
		11:38	医師会	Fw: 生後6ヶ月から12ヶ月未満児に対する麻しん予防接種の積極的勧奨について
		12:03	G内	Fw: [x x x x 3696] Media_4月6日
		13:53	医師会 ML	Re: ワクチンの接種間隔に関して
		14:47	感染研	γグロブリンの代替治療
		15:30		記者会見：麻疹緊急対策（予防接種）
		18:19	個別医療機関	麻疹疑い時対応)①検体採取マニュアル ②報告書・発生届・検査票
		19:30		はしか0プロジェクト 第2回緊急会議（所長出席）
		21:08	県	麻疹疑い2件(第1報・検査票) ※本日(4/6 16時頃)検体搬送した2件です
4/7	土	9:16	G内	Fw: [x x x x 2506] 沖縄県における麻疹患者の発生状況について
		9:54	G内	市立病院休日体制
		11:37	部所課長 G	[情報提供] 取扱注意！（Fw: Re: 4月6日に、はしか0プロジェクト第2回緊急会議に出席しました。）
		14:56	感染研	Q&A
		18:00	G内	Fw: [x x x x i:000668] 麻しん注意喚起の多言語資料
4/8	日	12:18	G内	[情報提供] 三次感染発生
		15:40	G内	[情報共有] Fw: [x x x x -net:0001] 麻疹流行に関する情報
		18:40	所庁内	★★★健康危機レベル3★★★取扱注意！麻疹三次感染発生（庁内第8報=所内第11報）
4/9	月	7:56	医師会&ER	Fw: ★★★健康危機レベル3★★★取扱注意！麻疹三次感染発生（庁内第8報=所内第11報）
		10:20	保育所	保護者等への接種履歴確認依頼の文書案について
		11:25	G内	参考）麻疹予防接種実施医療機関
		11:52	G内	（業務連絡）接触者リストについて
		11:59	所内	Fw: Re: [質問] 麻疹脆弱世代
		12:06	G内	麻しん一般の方向け広報案のアップデートについて
		12:56	部所課長	[情報共有] OOML (Fw: 麻疹流行に関する情報)

		14:15	G内	Re: Re: γ グロブリンの代替治療
		15:45		麻しん対応の予防接種に関する緊急課長会議
		19:04	中部保健所	【C-31】 O歳女性の第3報情報提供について
4/10	火	7:58	予防接種 G	予防接種中部管内対応状況
		15:49	OO	Re: 行動歴の合作に関するお願い（南部保健所 OO）
		16:46	県	Re: Re: （依頼・至急）OOOO職員の接触者リストについて
4/11	水	10:47	県	Re: 【情報提供】各保健所の接触的疫学調査方針について
		11:14	個別医療機関	生後OO児への麻しん接触後の対応について
		11:57	関係 G	[共有] 中部病院・高山先生のQ&A
		12:58	部所課長	[共有] Fw: 【H300411】沖縄麻疹 express、始めました
		13:46	G内	Fw: RE: 生後OO児への麻しん接触後の対応について
		16:36	G内	麻しん発生時対応フロー案
		17:30	県	Re: Re: 【情報提供】各保健所の接触的疫学調査方針について
		17:40	県	Re: Re: 【情報提供】各保健所の接触的疫学調査方針について
		17:59	OOO	Re: Fw: Re: 接触者リスト作成依頼の件
		20:05	県	(県 No121) O歳OOの情報提供についておよびH30 麻疹全数把握調査(O411)修正依頼
4/12	木	11:02	県	[お願い] 麻疹ウイルス量情報提供できませんか？
		13:35	G内	Fw: Re: （ご相談）クリニック向け通知について
		13:42	医師会 ML	Re: 麻疹全数把握情報について
		14:22	G内	Re: 4月11日時点のラインリストとスライド送付について
		17:34	中部保健所	(県 No 未) OOOO麻しん疑いの情報提供について
4/13	金	9:51	市立病院	グロブリン緊急投与について
		9:57	医師会	[訪問伺] お礼と経過報告
		10:47	部所課長	[共有] Fw: 名古屋市における麻しん患者に関するプレスリリースについて
		11:15	市立病院	Re: Fw: 検体提出の件で確認です。
		12:23	医師会	麻しん疑い発生時対応フローチャートについて（依頼）
		13:34	個別医療機関	麻しん疑い発生時対応フローチャートについて（依頼）
		13:39	ER	麻しん疑い発生時対応フローチャートについて（依頼）
		17:45	救急課長	Re: Re: ★★★健康危機レベル3★★★取扱注意！麻疹三次感染発生（庁内第8報=所内第11報）
		18:29	中部保健所	【依頼】C-10（O歳女性）の情報提供について
		18:54	南部保健所	(県 No136) O歳女性麻しん疑い例の情報提供
		19:45		那覇市医師会理事会：麻疹対策経過報告
		20:54	G内	麻疹について（OO病院OO先生より電話がありました）
4/14	土	10:32	医師会	[情報提供] 昨日の資料
		10:40	個別医療機関	接触者リスト・ストレッチャーについて
		11:20	医師会&ER	[補足説明] 麻しん疑い発生時対応フローについて

		11:30	医師会 ML	Fw: [補足説明] 麻しん疑い発生時対応フローについて
		11:54	保健所 Drs	[情報提供] Fw: [補足説明] 麻しん疑い発生時対応フローについて
		12:07	G 内	調査票新様式
		14:12	保健所 Drs	[共有] Re: Re: [情報提供] Fw: [補足説明] 麻しん疑い発生時対応フローについて
		14:22	保健所 Drs	[共有] 那覇市医師会説明資料
		19:31	中部保健所	(差し替え&病状確認依頼)Fw: (県 No 未) 2 件 (〇〇女児、〇〇女児) 麻しん疑いの情報提供について
4/16	月	11:30	南部保健所	Re: Re: 30 代〇〇 (麻疹患者との接触あり) → 抗体検査済み (γグロブリン検出中)
		11:53	部所課長	[共有] 取扱注意 (Fw: 麻しん流行の現状及び見通しに関する評価 (リスク評価) と感受性接触者の緊急予防接種勧奨並びに疑い事例検査の継続について)
		13:26	ER	[検討願] 検体搬送のご協力について
		14:08	G 内	Fw: (資料送付) MR ワクチン・感染拡大防止等の問い合わせ用 Q&A
		14:31	ER 院長	Fw: [検討願] 検体搬送のご協力について
		14:39	ER 院長	Fw: [検討願] 検体搬送のご協力について
		18:06	ER	[検討願] 麻疹 IgM 検査
		18:56	G 内	〇歳男性(那覇 58)、〇〇男児(那覇 65)の情報提供について
4/17	火	8:57	G 内	[情報提供] 〇〇先生の報告
		10:46	ER	Fw: 【H300417】 沖縄麻疹 express
		12:02	G 内	Fw: RE: 4月14日分県ラインリスト分反映のスライドについて
		13:35	ER	検体搬送手順
		14:01	保健所 Drs	[共有] 那覇市内医療機関向け通知
		14:33	G 内	Fw: RE: 沖縄県流行曲線及びリンク図
		18:21	G 内	Fw: Re: 情報提供: 麻しん疑い調査報告
		20:02	県	麻しん疑い 4 件(4/17 発生分)
4/18	水	9:38	医師会 ML	Re: リスク評価の通知文章について
		10:19	医師会 ML	免疫抑制患者へのγグロブリン投与について
		11:28	ER	Fw: 【H300418】 沖縄麻疹 express
		11:59	G 内	〇〇〇〇病院〇〇医師より電話受け
		13:27	G 内	Fw: RE: 那覇市保健所の調査票の共有について
		14:18	保育所	Re: 麻しんワクチン未接種者への接種勧奨のための対象者リスト
		15:08	医師会 ML	IASR 麻疹特集
		15:15	医師会 ML	緊急ガンマグロブリン判例
		15:23	ER	免疫抑制患者へのγグロブリン投与について
		15:24	ER	緊急ガンマグロブリン判例
		15:27	ER	IASR 麻疹特集
		15:50	医師会	[検討願] 咽頭ぬぐい液用滅菌棒
		16:00		城間市長: スタッフ慰労のため結核感染症室来室

		17:14	南部保健所	(結果報告) Fw: 南部管内在住疑い例 (No192,195,198) の情報提供について
		17:25	ER	[ご報告] 本日検体0でした
4/19	木	8:59	救急課長	Re: 麻疹について
		10:09	救急課長	Re: 麻疹について
		10:27	ER	Fw: 【H300419】 沖縄麻疹 express
		10:30	県	(質問) 麻しんの完治証明について
		10:37	G内	Fw: [x x x x:0054] RE:名護市の中学校の学級閉鎖について
		10:51	個別医療機関	Fw: IASR 麻疹特集
		10:53	個別医療機関	Fw: 免疫抑制患者へのγグロブリン投与について
		11:06	G内	[共有] Fw: 緊急ガンマグロブリン判例
		11:23	所庁内	★★★健康危機レベル3★★★取扱注意! 麻疹三次感染発生 (庁内第9報=所内第12報)
		11:46	個別医療機関	Fw: 免疫抑制患者へのγグロブリン投与について
		11:59	医師会&ER	Fw: ★★★健康危機レベル3★★★取扱注意! 麻疹三次感染発生 (庁内第9報=所内第12報)
		13:06	県	Re: 修飾麻しんの確認について
		14:18	G内	[共有] 感染研MRワクチンの考え方 20180417
		14:58	医師会ML	Re: 会員施設からの問い合わせについて
		15:08	南部保健所	Re: Re: (質問) 麻しんの完治証明について
		15:50	県	[Q] 健康危機管理対策会議の内容について
		17:03	部所課長	Fw: Re: Re: [Q] 健康危機管理対策会議の内容について
		17:16	G内	〇〇〇園の件について
		17:35	ER	[ご報告] 本日検体3件でした
4/20	金	7:49	ER	[ご報告] 昨日陽性0でした
		8:17	医師会ML	Re: 会員施設からの問い合わせについて (3)
		9:43	ER	金土日の麻疹検体取扱について
		10:11	県	福岡県からの情報提供について
		11:14	ER	Fw: 【H300420】 沖縄麻疹 express
		11:47	個別医療機関	Re: 患者情報について問い合わせ
		12:44	G内	[共有] Fw: Re: 4/20 朝搬送検体の優先順位について
		14:29	G内	学校教育課からの質問について
		18:35	医師会ML	Re: 会員施設からの問い合わせについて (2)
		18:39	ER	[ご報告] 本日検体2件でした
4/21	土	12:45	ER	Fw: 【H300421】 沖縄麻疹 express
		18:47	ER	[ご報告] 本日検体6件でした
		20:08	県	麻しん疑い5件 (第1報) ※4/21 17時搬送5件
4/22	日	10:34	個別医療機関	[お伺い] 麻疹疑い2例について
		12:12	G内	【情報共有】 〇〇〇〇保育園とのやりとり
4/23	月	7:47	南部保健所	Re: Re: 麻しん疑い事例に関する情報提供
		8:05	南部保健所	検査最優先願い (Re: Re: 麻しん疑い事例に関する情報提供)

		11:01	ER	Fw: 【H300423】 沖縄麻疹 express
		11:14	ER	Fw: (差替) 【H300423】 沖縄麻疹 express
		11:55	個別医療機関	Re: ご相談
		14:11	医師会	Re: 会員施設からの問合せについて
		16:17	医師会 ML	Re: 会員施設からの問合せについて
		17:26	G 内	[共有] 咽頭ぬぐい液用滅菌綿棒について
		18:08	ER	[ご報告] 本日検体 5 件でした
4/24	火	8:04	南部保健所	Re: 那覇市 HC の体制について
		8:27	G 内	Fw: RE: RE: 4 月 19 日分スライドについて (沖縄県麻疹ラインリストより作図)
		9:27	南部保健所	Re: Re: 那覇市 HC の体制について
		9:36	G 内	Fw: [x x x x:0085] RE: 市民からの電話相談について
		10:03	G 内	Fw: [x x x x:0088] Re: 市民からの電話相談について
		10:06	G 内	Fw: [x x x x:0091] RE: RE: Re: 市民からの電話相談について
		10:56	ER	Fw: 【H300424】 沖縄麻疹 express
		11:27	南部保健所	Re: Re: 麻疹疑い事例に関する情報提供
		13:11	県	Re: 麻疹除外診断のための検査依頼の禁止
		13:20	県	Fw: 麻疹疑い事例検査について (依頼)
		13:32	G 内	[共有] Fw: Re: Re: 4/24 朝搬送検体の優先順位について
		16:41	県	Re: Re: 【質問】 麻疹 (PCR 陰性、臨床診断例) の扱いについて (南部保健所 OO)
		16:43	県	Re: Re: 【質問】 麻疹 (PCR 陰性、臨床診断例) の扱いについて (南部保健所 OO)
		16:49	県	Re: Re: 【質問】 麻疹 (PCR 陰性、臨床診断例) の扱いについて (南部保健所 OO)
		18:07	ER	[ご報告] 本日検体 5 件でした
		18:32	県	麻疹疑い 3 件 (第 1 報) ※4/25 搬送予定 3 件
4/25	水	10:00		沖縄県健康危機管理対策委員会
		10:36	G 内	医療従事者のためのワクチンガイドライン
		11:19	ER	Fw: 【H300425】 沖縄麻疹 express
		13:00		沖縄県内の麻疹発生に係る保健所等感染症担当班長及び担当者会議
		16:26	G 内	[共有] Fw: Re: 4/25 朝搬送検体の優先順位について
		18:33	中部保健所	Re: C-75 について
4/26	木	8:02	部所課長 & G	Fw: Re: 【4/25】 沖縄県内の麻疹発生に係る保健所等感染症担当班長及び担当者会議の開催
		8:58	ER	[ご報告] 25 日検体 3 件でした
		9:00	個別医療機関	Re: 麻疹感染防止対策について質問
		9:07	県	[情報提供願] 宮古の症例
		9:44	南部保健所	[情報提供願] C47
		9:52	感染研	C47 情報

		10:29	中部保健所	[情報提供] C47 接触者情報
		10:35	中部保健所	Re: [情報提供] C47 接触者情報
		11:35	南部保健所	Re: Re: [情報提供願] C47
		11:42	中部保健所	Re: [情報提供] C47 接触者情報
		12:08	ER	注意お願いします (Fw: 【H300426】 沖縄麻疹 express)
		12:14	中部保健所	Re: Re: [情報提供] C47 接触者情報
		12:16	感染研	Re: RE: RE: C47 情報
4/27	金	10:28	ER	ひとふんばりお願いします (Fw: 【H300427】 沖縄麻疹 express)
		10:54	G 内	Fw: 台湾麻疹情報 (4/26 入電)
		11:57	G 内	[共有] Fw: Re: 4/27 朝搬送予定検体の優先順位について
4/28	土	11:16	医師会	[お願い] 麻疹対応医療機関等の問合せ対応について
		11:27	医師会 ML	Fw: [お願い] 麻疹対応医療機関等の問合せ対応について
		11:32	個別医療機関	Fw: 4/27-5/1 の麻疹検体取扱について
		11:54	個別医療機関	Re: Fw: 4/27-5/1 の麻疹検体取扱について
		12:13	医師会 ML	Re: Fw: [お願い] 麻疹対応医療機関等の問合せ対応について
		17:09	G 内	[共有] Fw: Re: Fw: [お願い] 麻疹対応医療機関等の問合せ対応について
		18:36	G 内	【追加の申し送り】 No105,106 について
4/30	月	12:54	G 内	[共有] Fw: Re: 4/30 朝搬送予定検体の優先順位について
	(休日)	17:26	ER	[お願い] 適正な行政検査へのご協力
		17:29	G 内	[共有] Fw: [お願い] 適正な行政検査へのご協力
		18:45	G 内	[共有] 4/30 最終受付症例キャンセル予定
5/1	火	7:32	南部保健所	Re: 陽性報告 Re: 4/29 南部保健所麻しん疑い症例 (那覇市在住 3 例) について
		9:06	G 内	Fw: [x x x x:0115] RE: 麻疹重症例のご報告
		10:12	個別医療機関	Re: RE: [検討願] 麻しん行政検査の追加キャンセル(4/30 分) について
		10:15	個別医療機関	ご協力ありがとうございます (検体搬送手順)
		10:27	個別医療機関	Fw: [補足説明] 麻しん疑い発生時対応フローについて
		12:44	G 内	Fw: Re: Re: キャンセル2件 (Re: 5/1 朝搬送予定検体の優先順位 について)
		12:50	衛研	[教えて下さい] C-79&82 の Ct 値について
		15:35	G 内	Re: 電子相談の回答について
		18:00	個別医療機関	接触者リストの情報提供依頼について
		18:27	南部保健所	那覇市の方針について
5/2	水	8:52	ER	[お願い] 5/2-5/7 の麻疹検体取扱について
		11:01	感染研	広報のあり方
		12:44	G 内	Fw: Re: 接触者リストの情報提供依頼について
		12:51	G 内	[共有] Re: [DM 番号訂正] 5/2 朝搬送予定検体の優先順位について
5/3	木	17:13	G 内	Fw: 【ご連絡】 麻疹 HI、PA の一時受託中止のお知らせ
	(休日)			

5/4	金	13:32	G内	[共有] Fw: Re: 5/4 朝搬送予定検体の優先順位について
(休日)		14:20	県	麻しん疑い1件(5/7搬送予定)
		14:43	南部保健所	5/4 那覇市保健所麻しん疑い症例(浦添市在住1例)について
5/6	日	11:31	個別医療機関	Re: Re: 接触者リストの情報提供依頼について
5/7	月	10:27	学校	麻しん疑いの生徒について
		13:13	G内	[共有] Fw: Re: 5/7 朝搬送予定検体の優先順位について
		13:38	G内	[情報提供] 国内の麻疹発生状況
5/8	火	9:40	G内	[共有] Fw: 麻しん情報 No.21の麻しん対応医療機関について(2)
		10:23	ER	[お知らせ] 麻疹結果報告は検査翌日午前中となります
		10:33	G内	[共有] Fw: Re: Re: H30 麻疹全数把握調査(0507)について
		11:06	県 Drs	Fw: 緊急ガンマグロブリン判例
		11:07	G内	【引継ぎ】麻しんラインリスト等保存先
		13:17	ER	Fw: 【H300508】沖縄麻疹 express
		14:21	G内	Fw: Re: Re: H30 麻疹全数把握調査(0507)について
		14:39	G内	[更新] 麻しん対応医療機関
		16:07	県内保健所	[情報提供] ○○○○公園(○○○○祭)
		16:55	ER	[報告] 本日、典型麻疹確認されました
		16:59	個別機関	【那覇市保健所】接触者リスト作成のお願い
5/9	水	10:17	県	[事前のお願い] 緊急麻疹検査を依頼するかもしれませんが
		10:27	県	(日付修正)[事前のお願い] 緊急麻疹検査を依頼するかもしれませんが
		11:37	県	Re: Re: (日付修正)[事前のお願い] 緊急麻疹検査を依頼するかもしれませんが
		12:03	県	明日の検査へ(Re: (日付修正)[事前のお願い] 緊急麻疹検査を依頼するかもしれませんが)
		13:03	所庁内	【健康危機レベル2】麻疹流行終息に向けて(庁内第10報=所内第13報)
		13:36	医師会&ER	Fw: 【健康危機レベル2】麻疹流行終息に向けて(庁内第10報=所内第13報)
		15:00	医師会ML	Re: ○○先生からのコメント+県医からの情報提供について
5/10	木	8:58	G内	Fw: [x x x x:0129] 症例のご報告
		12:55	G内	[共有] Fw: Re: 5/10 朝搬送予定検体の優先順位について
		13:22	ER	5/11-14の麻疹検体取扱について
		15:43	ER	Fw: 【H300510】沖縄麻疹 express
		16:15	個別医療機関	【報告】麻しん疑いの取り下げについて
5/11	金	8:10	県&衛研	C66 居住地
		11:10	県&衛研	C24 発熱日
		13:57	G内	[共有] Fw: Re: 5/11 朝搬送予定検体の優先順位について
		15:22	ER	Fw: 【H300511】沖縄麻疹 express
5/13	日	10:23	南部保健所	[情報提供] 麻疹疑い1件南部管轄学校在籍 20180512 受付
		14:00		はしか・風しん0キャンペーン週間セレモニー・街頭啓発

5/14	月	9:00		はしか・風しん0キャンペーン週間パネル展示（保健所ロビー）
		12:27	G内	[共有] Fw: Re: 5/14 朝搬送予定検体の優先順位について
		15:16	ER	Fw: 【H300514】 沖縄麻疹 express
		17:18	県・保健所	[情報提供] IgM 陽性 PCR 陰性例
5/15	火	10:09	所庁内	【健康危機レベル2】 麻疹流行終息に向けて（庁内第1 1 報=所内第1 4 報）
		10:15	医師会&ER	Fw: 【健康危機レベル2】 麻疹流行終息に向けて（庁内第1 1 報=所内第1 4 報）
		11:35	県・保健所	[情報提供] Fw: 【健康危機レベル2】 麻疹流行終息に向けて（庁内第1 1 報=所内第1 4 報）
		15:29	ER	Fw: 【H300515】 沖縄麻疹 express
5/16	水	13:03	G内	[共有] Fw: Re: 5/16 朝搬送予定検体の優先順位について
		17:20	感染研	Re: RE: [症例検討願] 麻疹キャリア？
5/17	木	17:49	県	麻疹ん疑い2件（第1報）※5/18搬送予定
5/21	月	13:11	G内	Fw: 県 No.545 の症例に関する情報提供
		14:50	県	Re: Fwd: 47-0037 : 欠席者情報収集システム : 麻疹が登録されました
		16:59	所庁内	[健康危機レベル1] 麻疹流行終息に向けて（庁内第1 2 報=所内第1 5 報）
		17:03	医師会&ER	Fw: [健康危機レベル1] 麻疹流行終息に向けて（庁内第1 2 報=所内第1 5 報）
5/22	火	8:29	ER	[お礼] 検体搬送へのご協力ありがとうございました
5/23	水	10:39	医師会	Re: 予防接種 ML について
5/24	木	16:15	県	麻疹ん疑い1件（第1報）※5/24検査済
		18:18	感染研	大阪での麻疹発生について
		18:30	県	麻疹ん疑い1件（第1報）※5/25搬送予定
5/25	金	10:16	感染研	Re: RE: 大阪での麻疹発生について
		12:56	衛研	[お願い] 麻疹緊急検査
		15:12	G内	[共有] Fw: Re: [お願い] 麻疹緊急検査
5/28	月	13:19	G内	[共有] 医療機関での麻疹対応ガイドライン第7版 201805
		15:37	所庁内	[健康危機レベル1] 麻疹流行終息宣言予定日 611（庁内第1 3 報=所内第1 6 報）
		15:40	医師会&ER	Fw: [健康危機レベル1] 麻疹流行終息宣言予定日 611（庁内第1 3 報=所内第1 6 報）
5/29	火	17:04	衛研	[お知らせ] 5/30 朝搬送予定ありません
5/30	水	17:05	衛研	[お知らせ] 5/31 朝搬送予定ありません
5/31	木	17:01	衛研	[お願い] 明日の麻疹検査について
6/1	金	16:52	G内	[共有] Fw: Re: (ご検討依頼) 麻疹ん終息宣言一記者会見の参加(県地域保健課)
6/4	月	10:45	所庁内	[健康危機レベル1] 麻疹流行終息宣言予定日 611（庁内第1 4 報=所内第1 7 報）
6/6	水	8:00	G内	[共有] Fw: 【集計結果】 麻疹ん（疑い）患者報告に伴う健康観察対象者数の報告について（県地域保健課）
		18:13	医師会&ER	Fw: [健康危機レベル1] 麻疹流行終息宣言予定日 611（庁内第1 4 報=所内第1 7 報）

6/7	木	11:44	G 所内	[メディア情報] 麻疹初発例等
		13:45	G 内	[共有] Fw: 麻疹検査協力のお礼
6/11	月	12:00		麻疹流行の終息宣言
		13:13	県	Re: Re: 【感謝！】終息宣言の日を迎えることができました
		14:40	感染研	[お礼] 終息宣言
<p>1. 点線は週(月～日)区切り。</p> <p>2. あて先のあるものはメールタイトル。</p> <p>3. 県からの通知は、3月31日の第二報以降は省略。</p> <p>4. 県と衛研への疑い患者及検体に関するメールは、一部を除き省略。</p> <p>5. 受診メールは含めず。保健所内外への送信メールのみ。</p> <p>6. あて先の略語は次の通り。G内：結核感染症グループ員、所内：那覇市保健所内関係者、庁内：那覇市庁内関係者、県：沖縄県関係者、衛研：沖縄県衛生環境研究所、ML：メーリングリスト、感染研：国立感染症研究所関係者、医師会：那覇市医師会事務局、ER：市内救急告示病院感染症担当</p> <p>7. 機微情報は「〇〇」「xx」で置換。</p>				

【健康増進課】

※網掛けは通知、会議等

月日	発信者	受信者	タイトル
3.22	健康増進課長（転送）	予防接種担当	[健康危機レベル1]取扱注意！麻疹輸入症例発生（第1報）
3.23	健康増進課長（転送）	健康増進課内	「麻疹患者の発生について（注意喚起）」 ※県プレスリリースの情報共有
3.28	健康増進課長（転送）	予防接種担当	[健康危機レベル1]取扱注意！麻疹輸入症例発生（第4報）
3.29	健康増進課長（転送）	予防接種担当	[健康危機レベル2]取扱注意！麻疹県内発生（第5報）
3.30	健康増進課長	予防接種G	麻疹Q&Aについて
	健康増進課長（転送）	健康増進課内	「麻疹患者の発生について（第2報）」 ※県プレスリリースの情報共有
4.2	感染症G	健康部関係者	Fw:患者発生地域のワクチン接種を積極的にしましょう
4.2	健康増進課長	予防接種G	【情報共有】麻疹関連情報
4.2	健康増進課	那覇市医師会	MR実施医療機関名簿の提供
4.2	健康増進課長（転送）	健康増進課内	健康危機レベル3 取扱注意！麻疹市内多数発生（庁内第5報）
4.3	健康増進課長	健康部関係者	麻疹患者発生に伴う、MR 予防接種等対策について
4.4	健康増進課長（転送）	予防接種G	健康危機レベル3 取扱注意！麻疹市内多数発生（庁内第6報=所内第9報）
4.4	健康増進課長	健康部関係者	麻疹（はしか）予防接種勧奨の周知について（経済観光部、全庁掲示板）
4.5	参事	健康部関係者	マスコミ報道に関して（那覇市医師会要望）
4.5	健康増進課長	予防接種担当	Fw:6ヶ月～12ヶ月未満の麻疹予防接種について
4.6	健康増進課	那覇市医師会 はしかOプロジェクトメンバー 那覇市立病院	<ul style="list-style-type: none"> ・那覇市における0歳児へのMR予防接種の対応について ・MR 予防接種行政措置対象者への個別通知について
4.6			0歳児への接種費用助成実施要綱の制定(4/9 施行)
4.6	健康増進課長（転送）	健康増進課内	【情報共有】「麻疹患者の発生について（第5報）」 ※県プレスリリース
4.9	健康増進課長	健康増進課内	麻疹対応マニュアル、麻疹Q&Aの更新について
4.9	健康増進課	那覇市医師会	麻疹Q&Aの提供
4.9	健康増進課長	健康増進課内	職員向けマニュアルの説明会
4.9 15:45	健康増進課長	健康部管理職	麻疹対策予防接種に関する調整会議

4.10	健康増進課	MR 行政措置対象者	行政措置対象者宛て、接種勧奨ハガキ送付 発送件数：1 期 1,546 件、2 期 1,866 件、接種歴なし 2,258 件、計 5,670 件
4.11	健康増進課長	健康部関係者	0 歳児、定期及び成人の予防接種医療機関とホームページの更新について
4.11 9:15	健康増進課長	所内関係保健師	麻疹対応等について
4.11	健康増進課長	こども園教頭・幼稚園主任連絡会議	MR ワクチン等接種勧奨依頼
4.13	健康増進課長（転送）	健康増進課内	【情報共有】「麻疹患者の発生について（第 6 報）」 ※県プレスリリース
4.16	健康増進課主査	健康増進課内	<ul style="list-style-type: none"> ・【情報共有】麻疹症例について ・【情報共有】観光客向けはしか Q&A の公開 ・Fw：(県作成) MR ワクチン、感染拡大防止等の問い合わせ用 Q&A
4.19	健康増進課長（転送）	予防接種 G	健康危機レベル 3 取扱注意！麻疹三次感染発生（庁内第 9 報=所内第 1 2 報）
4.19	健康増進課長	健康増進課内	0 歳児の償還払いにおける請求書書類について
4.19	健康増進課長	健康増進課内	【情報共有】 感染研 MR ワクチンの考え方 20180417
4.20	健康増進課長（転送）	健康増進課内	感染症発生動向調査 15 週分（麻疹患者発生状況報告）
4.23	感染症 G	健康部関係者	【情報共有】観光客向けホームページ用 Q&A
4.27	健康増進課長	那覇市医師会	0 歳児への MR 予防接種にかかる委託契約について
4.27	健康増進課長	健康増進課内	感染症発生動向調査 16 週分（麻疹患者発生状況報告）
5.1	健康増進課長	記者クラブ	【情報提供】 0 歳児への助成方法の変更について
5.1	健康増進課長	健康増進課内	発熱等の麻疹対応について
5.2	健康増進課長（転送）	健康増進課内	感染症発生動向調査 17 週分（麻疹患者発生状況報告）
5.8	健康増進課長（転送）	健康増進課内	麻疹情報 No.2 1 の麻疹対応医療機関について (2)
5.9	健康増進課長（転送）	健康増進課内	[健康危機レベル 2]麻疹流行終息に向けて（庁内第 1 0 報=所内第 1 3 報）
5.15	健康増進課長（転送）	健康増進課内	[健康危機レベル 2]麻疹流行終息に向けて（庁内第 1 1 報=所内第 1 4 報）
5.18	健康増進課長（転送）	健康増進課内	<ul style="list-style-type: none"> ・麻疹患者情報 ・麻疹の予防接種推奨の周知について（国）
5.21	健康増進課長（転送）	健康増進課内	[健康危機レベル 1]麻疹流行終息に向けて（庁内第 1 2 報=所内第 1 5 報）
5.28	健康増進課長（転送）	健康増進課内	[健康危機レベル 1]麻疹流行終息宣言予定日 6 1 1（庁内第 1 3 報=所内第 1 6 報）

5. 那覇市保健所所内・庁内情報共有メール（第1～17報）

所内第1報

件名:[健康危機レベル1] 取扱注意！麻疹輸入症例発生（第1報）

日時:2018年03月21日(水) 10:41

那覇市保健所健康危機管理対策委員の皆さま

本情報は関係者限りでお願いします

3月20日に麻疹輸入症例が発生しましたのでご報告いたします。

症例：30代、男性、台湾国籍、台湾在住 麻疹確定日：平成30年3月20日（火）

経過：

3/1 タイ国渡航歴あり（今年、台湾は現時点まで麻疹未発生です）

3/15 発熱

3/17 08:40 空路にて那覇空港着

レンタカーで周遊開始。国際通りにてショッピング。

市内ホテル泊

3/18 朝、市内ホテルチェックアウト後、市外へ（以後、市外で周遊）

3/19 発疹出現

3/20 中部病院受診、夕方に麻疹確定診断

県の対応

3/20 19:59 県内救急告示病院、県医師会、関係機関に注意喚起通知

3/22（予定） 遺伝子結果を踏まえて全国プレスリリース通知予定

那覇市保健所の対応

3/20 患者が宿泊した市内ホテルへの注意喚起と接触者調査依頼

3/21 所長を交えて緊急担当者会議

緊急ワクチン接種対象者がいないことを確認、積極的疫学調査対象の確認

3/22（予定） 市内関係機関への注意喚起通知予定

その他 県は国とも調整しながら対応を継続中（特に患者への帰国延期要請：まだ感染性のある現時点では、感染拡大防止の観点から、飛行機への搭乗～帰国は望ましくない） 那覇市内で曝露した可能性のある方の麻疹発症時期は3/27～4/17と見込まれています。

那覇市外で曝露された方の麻疹発症時期は、これよりも最大3日遅れます。

*今後、市内・県内で二次感染が確認された場合は、健康危機レベル2となる見込みです。

所内第2報

件名:[健康危機レベル1] 取扱注意！麻疹輸入症例発生（第2報）

日時:2018年03月23日(金) 08:56

那覇市保健所健康危機管理対策委員の皆さま

本情報は関係者限りでお願いします

3月20日発生麻疹輸入症例の続報です。

1. 沖縄県が公表しました（添付）。
2. 那覇市保健所からもHPやFacebookで注意喚起予定です。
3. 患者は昨日22日に退院し、中部の宿泊施設で感染性がなくなるまで健康観察する予定です。
帰国は最短で26日と思われます。
（健康観察は中部保健所が担当）
4. 中部保健所の尽力により、那覇市内の行動歴が徐々に判明してきています。

判明した分、那覇市保健所による疫学調査地が増え、対応に追われています。

*今後、市内・県内で二次感染が確認された場合は、健康危機レベル2となる見込みです。

添付：H300323【プレスリリース】麻疹患者発生（注意喚起）.pdf

庁内第1報

件名:[健康危機レベル1] 取扱注意！麻疹輸入症例発生（庁内第1報）

日時:2018年03月23日(金) 10:29

関係各課 庁内健康危機管理対策委員の皆様

本情報は関係者限りでお願いします

3月20日に麻疹輸入症例が発生しましたのでご報告いたします。

本件、今後、市内・県内で二次感染が確認された場合は、健康危機レベル2となる見込みです。

感染拡大の規模によってはレベル3として那覇市保健所健康危機管理対策本部、あるいは、レベル4として那覇市健康危機管理対策本部対応となる可能性も予めご承知おき下さい。健康危機レベルについては添付資料を参照下さい。

（全国どの自治体も麻疹に対しては同様の対応をしています）

1. 先ほど、沖縄県が公表しました。経過等は添付資料を参照下さい。
2. 那覇市保健所からも全庁掲示板、HPやFacebookで注意喚起予定です。
3. 患者は昨日22日に退院し、中部の宿泊施設で感染性がなくなるまで健康観察する予定です。
帰国は最短で26日と思われます。（健康観察は中部保健所が担当）
4. 中部保健所の尽力により、那覇市内の行動歴が徐々に判明してきています。
判明した分、那覇市保健所による疫学調査地が増え、対応に追われています。

5. 県内で曝露した可能性のある方の麻疹発症時期は3/24~4/9頃と見込まれています。感染拡大を防止するため、患者的那覇市内立寄り先に注意喚起を既に実施、あるいは予定しています。

観光施設が多いことから、担当が関係各課に問合せ並びに協力依頼中です。
関係各課のご協力を宜しくお願いいたします。

4月9日まで二次感染がないことが確認できれば10日に終息宣言となる予定です。
人事の引継ぎがありましたら、本件についても引継ぎを宜しくお願いいたします。

添付：H300323【プレスリリース】麻しん患者発生（注意喚起）.pdf、別表1危機レベルと本部設置基準.doc

所内第3報

件名:[健康危機レベル1] 取扱注意！麻疹輸入症例発生（第3報）
日時:2018年03月27日(火) 08:58

那覇市保健所健康危機管理対策委員の皆さま
本情報は関係者限りでお願いします
3月20日発生麻疹輸入症例の続報です。

1. 昨日26日時点まで二次感染は報告されていません。
2. インデックス患者は昨夜、帰国されたようです。
3. 那覇市内立寄り先の調査に基づき、
接触の可能性のある方への健康観察等の指示も完了しております。
4. インデックス患者は修飾麻疹の可能性は低く、真正の麻疹と思われることを確認しました。
感染力が強いことから警戒を怠らないようにしております。
5. (再掲) 県内で曝露した可能性のある方の麻疹発症時期は3/24~4/9頃と見込まれています。

*今後、市内・県内で二次感染が確認された場合は、健康危機レベル2となる見込みです。

所内第4報

件名:[健康危機レベル1] 取扱注意！麻疹輸入症例発生（第4報）
日時:2018年03月28日(水) 15:30

那覇市保健所健康危機管理対策委員の皆さま
本情報は関係者限りでお願いします

3月20日発生麻疹輸入症例の続報です。

1. 本日、那覇市の2例を含めて麻疹疑い症例が4例報告されています。
(南部から届けのあった症例は那覇市民でした)
2. このうち1例(那覇市管轄外)はインデックス症例と接触歴があります。
3. 那覇市の2症例は明らかな接触歴は確認されていません。
4. 確定検査の結果が判明するのは明日29日午後以降の見込みです。
5. (再掲) 県内で曝露した可能性のある方の麻疹発症時期は3/24~4/9頃と見込まれています。

*今後、市内・県内で二次感染が確認された場合は、健康危機レベル2となる見込みです。

庁内第2報

件名:【健康危機レベル2】 取扱注意！麻疹輸入症例発生(庁内第2報)

日時:2018年03月29日(木) 11:44

関係各課 庁内健康危機管理対策委員の皆様

本情報は関係者限りでお願いします

3月20日に発生した麻疹輸入症例の続報です。

本件、二次感染者が複数発生していることから【健康危機レベル2】に引き上げます。

感染拡大の規模によってはレベル3として那覇市保健所健康危機管理対策本部、あるいは、レベル4として那覇市健康危機管理対策本部対応となる可能性も予めご承知おき下さい。

その場合、緊急での会議開催もありますこと、併せてご承知おき下さい。

健康危機レベルについては前回添付資料を参照下さい。

1. 本日、二次感染者2例(那覇市外)確認されています。
2. 二次感染が確認されましたので三次感染の可能性も出てきました。
二次感染者の接触者について管轄の保健所で調査中です。
3. 昨日28日時点で他に二次感染疑い患者2例(那覇市内1例)報告されましたが、
本日、那覇市内の1例は陰性と判明しております。
4. 本日29日現在、那覇市内で30名以上が接触可能性有り、健康観察中です。
5. (再掲) 県内で曝露した可能性のある方の麻疹発症時期は3/24~4/9頃と見込まれています。

参考まで、最近の麻疹集団発生例(関空と山形)の資料を添付します。

いずれも広域で、広域対策会議が開催されています(毎日新聞)。

関空では、大阪府が16報(約1ヶ月間)のプレスリリースを出しています。

また、関空関係者数百人に緊急ワクチン接種がされました(西日本新聞)。

本件、さらに感染が拡大した場合、これらの事例と同様に、県を中心に国とも連携しながら対策をとることになります。

人事の引継ぎがありましたら、本件についても引継ぎを宜しくお願いいたします。

添付：関空従業員にワクチン接種900人対象 - 西日本新聞 2016.pdf、はしか1カ月収まり見えず 山形県など計7都県で57人に：朝日新聞デジタル.pdf、大阪府麻疹対応一覧 2016.jpeg、
関空：はしか拡大、発症38人…第3波の防止カギ - 毎日新聞.pdf

所内第5報

件名:【健康危機レベル2】 取扱注意！麻疹県内発生（第5報）

日時:2018年03月29日(木) 17:49

那覇市保健所健康危機管理対策委員の皆さま
庁内健康危機管理対策委員の方にはかなり重複している情報です。
本情報は関係者限りでお願いします
3月20日に発生した麻疹症例の続報です。

二次感染者が複数発生していることから【健康危機レベル2】に引き上げます。
健康危機レベル引き上げに伴い、状況に応じて各課へ応援を依頼しますので、
その際は、どうぞ宜しくお願いいたします。

応援依頼具体例：検体搬送の運転手 → 総務グループ
麻疹に関する一般的な電話相談 → 健康増進課

感染拡大の規模によってはレベル3として那覇市保健所健康危機管理対策本部、あるいは、レベル4として那覇市健康危機管理対策本部対応となる可能性も予めご承知おき下さい。
その場合、緊急での会議開催もありますこと、併せてご承知おき下さい。
健康危機レベルについては添付資料を参照下さい。

1. 本日、二次感染者2例（那覇市外）確認されています。
県のプレスリリースを参照下さい。
明日30日以降、那覇市保健所にも問合せが増えるかもしれません。
2. 二次感染が確認されましたので三次感染の可能性も出てきました。
二次感染者の接触者について管轄の保健所で調査中です。
3. 昨日28日時点で他に二次感染疑い患者2例（那覇市内1例）報告されましたが、
本日、2例とも陰性と判明しております。
4. 本日29日現在、那覇市内で30名以上が接触可能性有り、健康観察中です。
参考まで、最近の麻疹集団発生例（関空と山形）の資料を添付します。
いずれも広域で、広域対策会議が開催されています（毎日新聞）。

関空では、大阪府が16報（約1ヶ月間）のプレスリリースを出しています。

また、関空関係者数百人に緊急ワクチン接種がされました（西日本新聞）。
本件、さらに感染が拡大した場合、これらの事例と同様に、
県を中心に国とも連携しながら対策をとることになります。

添付：別表1 危機レベルと本部設置基準.doc、はしか1カ月、収まり見えず 山形県など計7都
県で57人に：朝日新聞デジタル.pdf、関空：はしか拡大、発症38人…第3波の防止カギ - 毎
日新聞.pdf、関空従業員にワクチン接種900人対象 - 西日本新聞 2016.pdf、大阪府麻疹対応
一覧 2016.jpeg、H300329【プレスリリース】麻しん患者発生（第二報）.pdf

所内第6報

件名:【健康危機レベル2】 取扱注意！麻疹市内発生（第6報）
日時:2018年03月31日(土) 13:21

那覇市保健所健康危機管理対策委員の皆さま
庁内健康危機管理対策委員の方には同一情報です。
本情報は関係者限りでお願いします
3月20日に発生した麻疹症例の続報です。

1. 本日、市内での二次感染者1名（県内3例目）確認されています。
この方からの三次感染拡大防止のため、接触者を調査中です。
2. その後、現時点で3例の疑い症例（那覇市）が報告されています。
検査結果は本日夕方～明日正午に判明する予定です。
3. 那覇市医師会を通じて、緊急ワクチン接種施設を確保中です。
ワクチン在庫数は確認しました。
4. 今後の対応について所長と調整いたします。
4月2日（月）に改めてご報告いたします。

庁内第3報

件名:【健康危機レベル2】 取扱注意！麻疹市内症例発生（庁内第3報）
日時:2018年03月31日(土) 13:35

関係各課 庁内健康危機管理対策委員の皆様
（4月から委員予定の方にもお送りしています）
本情報は関係者限りでお願いします
3月20日に発生した麻疹症例の続報です。

1. 本日、市内での二次感染者1名（県内3例目）確認されています。

- この方からの三次感染拡大防止のため、接触者を調査中です。
- その後、現時点で3例の疑い症例（那覇市）が報告されています。
検査結果は本日夕方～明日正午に判明する予定です。
 - 那覇市医師会を通じて、緊急ワクチン接種施設を確保中です。
ワクチン在庫数は確認しました。
 - 今後の対応について所長と調整いたします。
4月2日（月）に改めてご報告いたします。
-

庁内第4報

件名:★★★健康危機レベル3★★★取扱注意！麻疹市内多数発生（庁内第4報）
日時:2018年04月01日(日) 15:55

関係各課 庁内健康危機管理対策委員の皆様
（4月からの委員の方のみにお送りしています）
（情報提供が不要な方はご連絡下さい）
本情報は関係者限りでお願いします
3月20日に発生した麻疹症例の続報です。

昨日までに那覇市内4例（県内計8例）発生していることから、
★★★健康危機レベル3★★★に引き上げます。

- 昨日、市内で二次感染者計4名が確認されています。
この方々からの三次感染拡大防止のため、接触者を調査中です。
- その後、現時点で2例の疑い症例（那覇市）が報告されています。
検査結果は本日夕方～明日正午に判明する予定です。
- 昨日から本日にかけて、12名以上に対して緊急ワクチン接種を実施、または実施予定です。
- 第1波はピークを迎えていると思われます。
この後、少し落ち着いて第2波を迎える予定です。
（これまでの対策はこの第2波を抑えるためのものですので、
対策が奏功していれば第2波は小さくなるはずです）
- 本日、県と那覇市保健所連名でプレスリリースを出しました（添付）。
- 県が明日2日11時に対策会議を開催します。
終了後、改めてメールで情報共有いたします。

那覇市の対策本部は、当面、開催せず、メールで情報共有いたします。

添付：H300401【プレスリリース】麻しん患者発生（第三報）.pdf

所内第7報

件名:★★★健康危機レベル3★★★取扱注意！麻疹市内多数発生（第7報）
日時:2018年04月01日(日) 15:59

那覇市保健所健康危機管理対策委員の皆さま
庁内健康危機管理対策委員の方には同一情報です。
本情報は関係者限りでお願いします
3月20日に発生した麻疹症例の続報です。

那覇市内4例（県内計8例）発生していることから、
★★★健康危機レベル3★★★に引き上げます。

1. 昨日、市内で二次感染者計4名が確認されています。
この方からの三次感染拡大防止のため、接触者を調査中です。
2. その後、現時点で2例の疑い症例（那覇市）が報告されています。
検査結果は本日夕方～明日正午に判明する予定です。
3. 昨日から本日にかけて、12名以上に対して緊急ワクチン接種を実施、または実施予定です。
4. 第1波はピークを迎えていると思われます。
この後、少し落ち着いて第2波を迎える予定です。
（これまでの対策はこの第2波を抑えるためのものですので、
対策が奏功していれば第2波は小さくなるはずです）
5. 本日、県と那覇市保健所連名でプレスリリースを出しました（添付）。
6. 県が明日2日11時に対策会議を開催します。
終了後、改めてメールで情報共有いたします。

那覇市保健所の対策本部は、当面、開催せず、メールで情報共有いたします。

添付：H300401【プレスリリース】麻しん患者発生（第三報）.pdf

庁内第5報

件名:★★★健康危機レベル3★★★取扱注意！麻疹市内多数発生（庁内第5報）
日時:2018年04月02日(月) 15:40

関係各課 庁内健康危機管理対策委員の皆様（情報提供が不要な方はご連絡下さい）
本情報は関係者限りでお願いします
3月20日に発生した麻疹症例の続報です。
現在 ★★★健康危機レベル3★★★ です。

1. 昨日、市内で二次感染者計1名が確認されています。那覇市累計5例（県12例）
この方々からの三次感染拡大防止のため、接触者を調査中です。
2. その後、本日現時点で8例の疑い症例（那覇市）が報告されています。

- 検査結果は明日夕方に判明する予定です。全部は検査できないと思われます。
3. 昨日までに16名、本日も数名以上に対して緊急ワクチン接種を実施、または実施予定です。
 4. 本日11-12時、県の対策会議が開催されました。
 - 4-1. 那覇市の緊急ワクチン接種対策が評価され、今後、県全体で取り組むことになりました。(那覇市以外はこれまでやってなかったようです)
 - 4-2. 緊急ワクチン接種対象者に対して接種費の1/2補助が可能か検討する。
 - 4-3. 県として、県民への広報を強化する。
 - 4-4. 医療機関への情報提供を強化する。
 - 4-5. 県教育委員会等を通じて、入学式や始業式に併せて注意喚起とワクチン接種勧奨を進める。
 - 4-6. 現在、各保健所で実施されている積極的疫学調査は、マンパワー等の限界もあるので、各保健所の実情に合わせて縮小等も考慮しながら引き続き実施する。
 5. 本日、本市では1日8件の疑い例が発生し、積極的疫学調査についてはマンパワーの限界と判断しました。よって通常の疫学調査にレベルダウンし、緊急ワクチン接種対策に注力いたします。
 6. 健康増進課では、定期MRワクチン(麻疹・風疹混合ワクチン)接種勧奨や、未接種者への個別接種勧奨を強化する予定です。
 7. 関係課へ再度のご協力依頼をする予定です。
担当から連絡があった場合は、ご対応のほど宜しくお願いいたします。
 8. 現時点で緊急対策会議は予定していません。現場対応を優先しております。
参考までに麻疹の一般的な資料を添付します。

添付：麻疹資料(元は2015年版)20180402.pptx

庁内第6報=所内第9報

件名:★★★健康危機レベル3★★★取扱注意!麻疹市内多数発生(庁内第6報=所内第9報)
日時:2018年04月04日(水)07:53

関係各課 庁内健康危機管理対策委員の皆様
那覇市保健所所内健康危機管理対策委員の皆様
(情報提供が不要な方はご連絡下さい)

本情報は関係者限りでお願いします
3月20日に発生した麻疹症例の続報です。
現在 ★★★健康危機レベル3★★★ です。

1. 現時点まで、那覇市累計8例(県18例)です。
2. その後、本日現時点で3例の疑い症例(那覇市)が報告されています。
検査結果は明日夕方に判明する予定です。
3. 昨日、県からプレスリリースがありました。(添付)
4. 本日、県からプレスリリースがありました。(添付)
 - 5-1. 麻疹ワクチンの定期接種について積極的な接種勧奨を呼びかけています。
 - 5-2. 県の教育関係課に向けても接種勧奨に取り組むよう依頼しています。

- 5-3.県のガイドラインにおける「レベル3」となりました。
5. この「レベル3」は那覇市の健康危機レベルとは違います。
県の麻疹対策ではレベル3が最高です。
那覇市の健康危機レベルは4月1日に2から3に引き上げました。
最高は4ですが、現時点では4には引き上げません。3のままです。
那覇市の4は大流行やエボラ等の発生時に該当します。
 6. レベル1～2の対策の柱は封じ込めでしたが、2～3の柱はワクチン接種です。
教育機関、医療機関、そして観光風評被害対策として観光商業施設へのワクチン接種勧奨を呼びかけます。
関係課の皆様は、ご協力を宜しくお願いいたします。
 7. 庁内第5報の6にあるように、
那覇市では定期MRワクチン（麻疹・風疹混合ワクチン）接種勧奨（前倒し）や、
未接種者への個別接種勧奨を強化する準備を進めています。
健康増進課からもうすぐ通知が出る予定です。
その後、来週末を目標に対象者への個別はがき通知をいっせいで通知予定です。
 8. （改めて）ワクチンの積極的な接種勧奨への取組みについて、
市の教育関係課、市内観光商業施設担当課等にもお願いをする予定です。
通知等が届きましたら、ご対応のほど宜しくお願いいたします。

添付：H300401【プレスリリース】麻疹患者発生（第三報）.pdf、H300402【プレスリリース】麻疹患者発生状況.pdf、参考【プレスリリース】レベル3のお知らせ（1）.pdf

庁内第7報=所内第10報

件名:★★★健康危機レベル3★★★取扱注意！麻疹市内多数発生（庁内第7報=所内第10報）
日時:2018年04月04日(水) 19:19

関係各課 庁内健康危機管理対策委員の皆様
那覇市保健所所内健康危機管理対策委員の皆様
（情報提供が不要な方はご連絡下さい）

本情報は関係者限りでお願いします
3月20日に発生した麻疹症例の続報です。
現在 ★★★健康危機レベル3★★★ です。

1. 現時点まで、那覇市累計8例（県19例）です。（グラフ参照）
現在、検査が少し滞っています。
2. その後、本日現時点で2例の疑い症例（那覇市）が報告されています。
検査結果は明日夕方に判明する予定です。
3. 本日、県からプレスリリース（第5報）がありました。（添付）
今後は大きな動きがあったときに出すそうです。
最新の情報は県のホームページで随時更新されるそうです。
4. この情報提供も、今後は大きな動きがあったときに発信いたします。

添付：麻疹エピカーブ 20180404.pptx、H300404【プレスリリース】患者情報の提供について（第五報）_1.pdf

庁内第8報=所内第11報

件名:★★★健康危機レベル3★★★取扱注意！麻疹三次感染発生（庁内第8報=所内第11報）

日時:2018年04月08日(日) 18:40

関係各課 庁内健康危機管理対策委員の皆様
那覇市保健所所内健康危機管理対策委員の皆様
（情報提供が不要な方はご連絡下さい）

本情報は関係者限りでお願いします
3月20日に発生した麻疹症例の続報です。
現在 ★★★健康危機レベル3★★★ です。

1. 現時点まで、那覇市累計14例（県34例）です。（グラフ参照）
県のHPでは9日10AM前後に更新される情報です。
それまでは取扱注意をお願いします。
2. 庁内第7報までは二次感染者のみでしたが、
今回、三次感染が少なくとも3例（那覇市1例）確認されています。
この3例は嚴重観察下にありましたので、
この方々からの四次感染のリスクは低いです。
流行の第2波が始まっています。
庁内第4報でも触れていますが、
これまでの対策が奏功していれば第2波は小さくなるはずです。
3. 3月20日に発生した初発患者の那覇市内接触者73名（接触日17日）
の注意喚起～健康観察期間は、4月7日をもって終了しました。
一部、二次感染者の接触者がいらっしゃいますので、
その方々の観察等は継続中です。
4. 引き続き、二次感染者と三次感染者の市内接触者の注意喚起
～健康観察期間中（接触から3週間）です。
5. 報道にもあるように4月6日（金）に記者会見を開き、
市民への予防接種対応の強化を図っているところです。
6. 全庁掲示板にもあるように、那覇市職員に対しても予防接種の勧奨により、
対策を強化しているところです。
7. 那覇市の二次感染者の中に典型麻疹（感染力が強い）
と思われる方が複数名確認されています。
うち1名は感染力のある時期に、市内で、不特定多数の方と接触しています。
この方は、上記2と違い、嚴重観察下になかった方
（初発患者の不特定多数の接触者の一人）であったため、

初発患者と同様の感染拡大リスクがあります。
予防接種等の対策は進んでいますので、
初発患者のリスクよりは小さいかもしれませんが、予断を許さない状況です。

8. よって、今後、第2波に対して嚴重警戒する必要があります。
対策本部会議開催を検討中です。
本案内以降、1両日中に検討結果をご報告いたします。
予め、ご承知おき下さいますようお願いいたします。
9. 4/7（土）より国立感染症研究所の専門家2名に常駐いただき、
ご助言やご支援をいただいております。
会議が開催される場合は、ご出席を依頼する予定です。

添付：麻疹エピカーブ 20180408.pptx

庁内第9報=所内第12報

件名:★★★健康危機レベル3★★★取扱注意！麻疹三次感染発生（庁内第9報=所内第12報）
日時:2018年04月19日(木) 11:23

関係各課 庁内健康危機管理対策委員の皆様
那覇市保健所所内健康危機管理対策委員の皆様
(情報提供が不要な方はご連絡下さい)

県の広報が機能し始めていましたので、本情報提供は、しばらくお休みさせていただきました。

本情報は関係者限りでお願いします
3月20日に発生した麻疹症例の続報です。
現在 ★★★健康危機レベル3★★★ です。

1. 現時点まで、那覇市累計25例（県65例）です。（グラフ参照）
2. 現在、3次感染者による第2波が終わるところです。
昨日現在、4次感染者は報告されていませんが、
これから4次感染者による第3波を迎えると予想しています。
3. 第2波のベターシナリオは、第1波より半減でしたが、
実際は第1波と同規模と判断しています。
第1波よりも拡大するのが最悪シナリオでしたが、
それは回避できていると判断しています。
4. 引き続き、二次感染者と三次感染者の市内接触者
の注意喚起～健康観察期間中（接触から3週間）です。
5. 報道にもあるように県は全庁体制の健康危機管理対策会議を開催予定のようです。
6. これも報道にあります。院内感染が確認されています。
当該施設は患者が集中してしまう現状がありますので、
ある程度想定内で、既に対策はとられています。
7. 今後、第3波に対して嚴重警戒する必要があります。

対策本部会議開催を検討中です。

本案内以降、1 両日中に検討結果をご報告いたします。

予め、ご承知おき下さいますようお願いいたします。

8. 引き続き、ワクチン接種勧奨にご協力願います。

添付：麻疹エピカーブ 20180418.pptx

庁内第10報=所内第13報

件名:【健康危機レベル2】麻疹流行終息に向けて（庁内第10報=所内第13報）

日時:2018年05月09日(水) 13:03

関係各課 庁内健康危機管理対策委員の皆様
那覇市保健所所内健康危機管理対策委員の皆様
(情報提供が不要な方はご連絡下さい)

本情報は関係者限りでお願いします

3月20日に発生した麻疹症例の続報です。

本日【健康危機レベル2】にレベルダウンしました。

1. 現時点まで、那覇市累計28例（県92例）です。（グラフ参照）
2. 現在、第3波が終わるところです。
3. 第3波は、第2波より半減以下まで減少していると判断しています。
4. 那覇市においては、ここ2週間では1~2例/週の発生となっています。
5. 報道にもあるように県も終息段階に入ったと判断しています。
6. 今後、再燃を防ぎながら、終息に向けて慎重に対応する必要があります。
7. 引き続き、ワクチン接種勧奨にご協力をお願いします。

添付：麻疹エピカーブ 20180508.pptx

庁内第11報=所内第14報

件名:【健康危機レベル2】麻疹流行終息に向けて（庁内第11報=所内第14報）

日時:2018年05月15日(火) 10:09

関係各課 庁内健康危機管理対策委員の皆様
那覇市保健所所内健康危機管理対策委員の皆様
(情報提供が不要な方はご連絡下さい)

本情報は関係者限りでお願いします

3月20日に発生した麻疹症例の続報です。
5月9日より【健康危機レベル2】です。

1. 現時点まで、那覇市累計28例（県98例）です。（グラフ参照）
2. 第4波と思われる症例が1例（中部管内）、昨日の検査で確認されています。
グラフでは5月9日発熱の1例です。
3. 那覇市においては、ここ1週間、麻疹確定例が発生していません。
4. また、那覇市では、疑い症例も12日以降、発生していません。
5. 今後も、再燃を防ぎながら、終息に向けて慎重に対応する必要があります。
グラフでお分かりのように、那覇市以外では第3波が大きく、
また、前記通り、第4波と思われる症例が1例確認されています。
感染症は、那覇市だけは大丈夫というわけにはいきません。
今回の第4波が、那覇市の第3波のように、ぽつぽつ、
になることが良いシナリオと考えています。
6. 引き続き、ワクチン接種勧奨にご協力をお願いします。

添付：麻疹エピカーブ 20180514.pptx

庁内第12報=所内第15報

件名:[健康危機レベル1] 麻疹流行終息に向けて（庁内第12報=所内第15報）
日時:2018年05月21日(月) 16:59

関係各課 庁内健康危機管理対策委員の皆様
那覇市保健所所内健康危機管理対策委員の皆様
（情報提供が不要な方はご連絡下さい）

本情報は関係者限りでお願いします
3月20日に発生した麻疹症例の続報です。
本日より【健康危機レベル1】にレベルダウンしています。

1. 現時点まで、那覇市累計28例（県99例）です。（グラフ参照）
2. 第4波と思われる症例が2例（中部管内）、確認されています。
3. 那覇市においては、7日に確認以降、ここ2週間、麻疹確定例が発生していません。
4. また、那覇市では、疑い症例も2～3例/週にまで減少しています。
5. 前回例示しました良いシナリオ通りに推移しています。
終息の最終段階と考えております。しかしながら、
「麻しん患者との最終接触者発生から4週間、新たな麻しん患者が発生しない
場合」に終息の判断となりますので、終息宣言までは、まだ2週間以上あります。
6. 県より各保健所宛に、以下の依頼が届いております。
「終息に向け、今一度ギアをシフトし、スロットルを開け、
対策を強化して頂きますよう、よろしく願いいたします。」
ガス欠にならない程度にスロットル調整しながら、強化します。

7. 引き続き、ワクチン接種勧奨にご協力をお願いします。

添付：麻疹エピカーブ 20180520.pptx

庁内第13報=所内第16報

件名:[健康危機レベル1] 麻疹流行終息宣言予定日611 (庁内第13報=所内第16報)

日時:2018年05月28日(月) 15:37

関係各課 庁内健康危機管理対策委員の皆様
那覇市保健所所内健康危機管理対策委員の皆様
(情報提供が不要な方はご連絡下さい)

本情報は関係者限りでお願いします

3月20日に発生した麻疹症例の続報です。

5月21日より [健康危機レベル1](=平時のレベル) にレベルダウンしています。

1. 現時点まで、那覇市累計28例(県99例)で変わりません。(グラフ参照)
2. 第4波と思われる症例は2例(中部管内)に留まっています。
3. 那覇市においては、7日に確認以降、ここ3週間、麻疹確定例が発生していません。
4. 麻疹終息の判断基準
「麻しん患者との最終接触者発生から4週間、新たな麻しん患者が発生しない場合」に基づき、県は6月11日(月)に終息宣言が出せるよう慎重に準備しています。
5. 那覇市保健所では、
7月10日(火)開催予定の那覇市健康危機管理対策連絡会議(庁内会議)
において、今回の麻疹対策に関する総括報告を行う予定です。
6. 引き続き、ワクチン接種勧奨にご協力をお願いします。

添付：麻疹エピカーブ 20180525.pptx

庁内第14報=所内第17報

件名:[健康危機レベル1] 麻疹流行終息宣言予定日611 (庁内第14報=所内第17報)

日時:2018年06月04日(月) 10:45

関係各課 庁内健康危機管理対策委員の皆様
那覇市保健所所内健康危機管理対策委員の皆様
(情報提供が不要な方はご連絡下さい)

本情報は関係者限りでお願いします

3月20日に発生した麻疹症例の続報です。

5月21日より〔健康危機レベル1〕(=平時のレベル) にレベルダウンしています。

1. 現時点まで、那覇市累計28例(県99例)で変わりません。(グラフ参照)
2. 那覇市においては、7日に確認以降、ここ4週間、麻疹確定例が発生していません。
3. 麻疹患者の市内最終接触者の健康観察期間(3週間)が6月2日をもって終了しました。
4. 県は6月11日(月)11:00に終息宣言記者会見を予定しています。
那覇市からは東所長が出席予定です。
また、観光関係者の出席も予定されており、
観光客向けに安全をアピールするようです。
5. フィリピン、タイなどは毎年数千人規模で麻疹患者が発生しています。
海外からの麻疹持込のリスクは依然としてあります。
6. 引き続き、ワクチン接種勧奨にご協力をお願いします。

今回の麻疹流行に関するメールでの情報提供は、本報をもって終了いたします。
最終報告は文書(報告書)での報告を予定しております。

添付：麻疹エピカーブ 20180601.pptx

6. 庁内第5報添付資料（麻疹に関する一般的解説）

那覇市の健康危機管理関係者向けに配付（2018年4月2日）

麻疹（ましん・はしか） 通年

感染経路: 空気感染
潜伏期間: 10~12日
症状: 発熱、倦怠感があり、不機嫌となり、咳、鼻水などの上気道炎症状と結膜炎症状（結膜充血、眼脂、羞明）が現れ、次第に増強する。2峰性発熱とともに、発疹出現、7~10日で回復
その他: 10人に4人が入院。1000人に1人が死亡。
合併症に、肺炎、脳炎
10年ほどして亜急性硬化性全脳炎



ワクチンで予防
予防は、ワクチンのみ!!

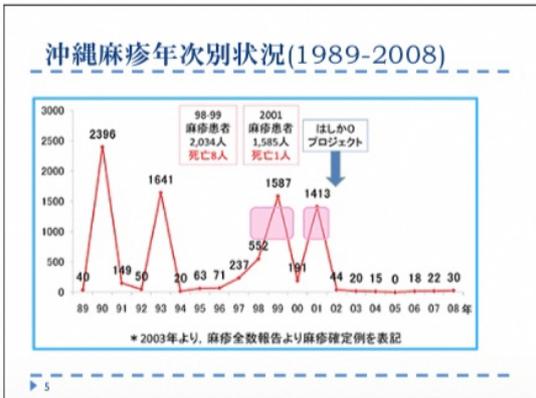
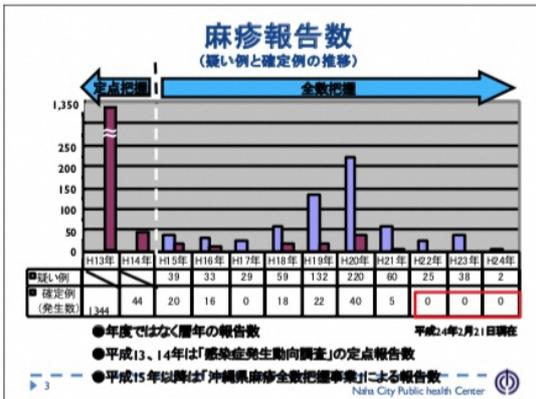
麻疹（ましん・はしか） 通年





コプリック斑
(※国立感染症研HPより)
はしか顔貌
全身の発疹

浜瑞宏先生作成スライドより一部改良
ワクチンで予防
Naha City Public Health Center



はしかはまだ怖い感染症です

那覇市保健所のFacebookページ
今年7月26日の記事 (2015年)

WHO報告

- 2013年: 145,700人がはしかで死亡
- ほとんどが5才以下の子供
- 2000年には544,200人が死亡
- 2000~2013年に1,560万人の命がワクチンで救われた計算

新年度保健所
●はしか(麻疹)は怖い感染症です。毎年約145万人がはしかで死亡しています。ほとんどが5歳以下の子供です。2000年から2013年には、全世界で544,200人がはしかで死亡しています。2000年から2013年には、全世界で1,560万人の命がワクチンで救われた計算です。

はしか：最近の沖縄でのできごと

那覇市保健所のFacebookページ
(2015年) 今年7月26日の記事

- 台湾でははしかと診断された方が、診断の直前に沖縄を訪れていた。
- はしかは感染力が強くて強いので、県内での感染拡大を危惧していた。
- 幸い、この方から感染が広がることはなかった。
- 皆さんがワクチンを受けていたことも、感染が広まらなかった理由のひとつです。
- ワクチン接種率が95%以上あれば、感染が広まることはないと言われています。

国立感染症研究所 2008年作成資料より

ましん 麻疹(はしか)

- 原因 麻疹ウイルス measles virus
感染経路 空気感染
感染力が強い(基本再生産数 R_0)
1人→12-18人(インフルエンザ 1人→2-3人)
- 合併症
麻疹ウイルスによる肺炎(6%)や脳炎(0.1%)
2次感染による細菌性肺炎、中耳炎(7%)
死亡 0.1-0.2%(途上国では10倍以上)
- 修飾麻疹
ワクチン接種後に年数が経って、ましんに対する免疫が下がってきた人の麻疹の場合は、軽くなることが多い。しかし、感染源になる
- 治療なし、しかしワクチンで予防可能



国立感染症研究所2008年作成資料より

1800年代日本の麻疹(はしか)

20-40年おきの流行で、大人も子どもも一斉に感染

多くの方が命を落とし、命定め病として怖れられた。

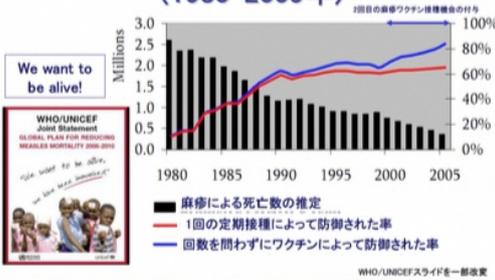
回復した喜びは、ひとしお!



国立感染症研究所2008年作成資料より

世界における麻疹死亡の推定 (1980-2005年)

We want to be alive!



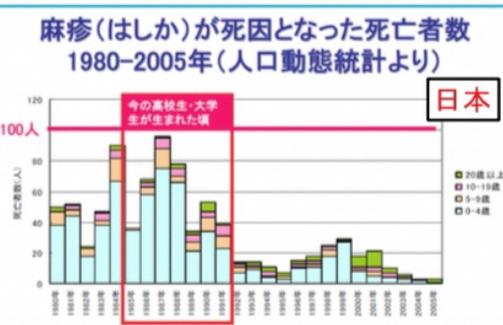
WHO/UNICEF Joint Statement
GLOBAL PLAN FOR REDUCING MEASLES MORTALITY 2008-2012

WHO/UNICEFスライドを一部改変

国立感染症研究所2008年作成資料より

麻疹(はしか)が死因となった死亡者数 1980-2005年(人口動態統計より)

日本



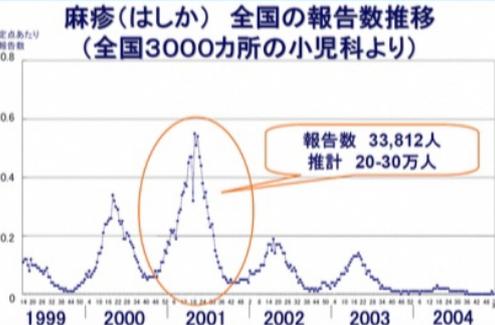
100人

■ 20歳以上
■ 10-19歳
■ 5-9歳
■ 0-4歳

今の高校生・大学生が生まれた頃

国立感染症研究所2008年作成資料より

麻疹(はしか) 全国の報告数推移 (全国3000カ所の小児科より)



報告数 33,812人
推計 20-30万人

国立感染症研究所2008年作成資料より

7. 対応クロノロジー (那覇市No.1~149)

No.1~9

No	年齢	性別	PCR	症状
1	4	♀	+	発熱、頭痛
4	16	♀	+	発熱、頭痛
5	17	♀	+	発熱、頭痛
6	13	♀	+	発熱、頭痛
7	2	♀	+	発熱、頭痛
8	14	♂	+	発熱、頭痛
9	10	♀	+	発熱、頭痛

No.10~18

No	年齢	性別	PCR	症状
10	32	♂	-	発熱、頭痛
11	29	♀	+	発熱、頭痛
12	33	♀	+	発熱、頭痛
13	34	♀	+	発熱、頭痛
14	15	♀	+	発熱、頭痛
15	27	♀	+	発熱、頭痛
16	50	♂	+	発熱、頭痛
17	50	♀	+	発熱、頭痛
18	35	♂	+	発熱、頭痛

No.19~26

No	年齢	性別	PCR	症状
19	52	♀	-	発熱、頭痛
20	63	♀	+	発熱、頭痛
21	62	♂	+	発熱、頭痛
22	76	♀	+	発熱、頭痛
23	78	♂	+	発熱、頭痛
24	78	♂	+	発熱、頭痛
25	89	♀	+	発熱、頭痛
26	89	♀	+	発熱、頭痛

様式更新 No.27~33

年齢	性別	PCR	症状	経過
27	♀	+	発熱、頭痛	軽快
28	♂	+	発熱、頭痛	軽快
29	♀	+	発熱、頭痛	軽快
30	♂	+	発熱、頭痛	軽快
31	♂	+	発熱、頭痛	軽快
32	♀	+	発熱、頭痛	軽快
33	♂	+	発熱、頭痛	軽快

No.34~40

年齢	性別	PCR	症状	経過
34	♂	+	発熱、頭痛	軽快
35	♀	+	発熱、頭痛	軽快
36	♀	+	発熱、頭痛	軽快
37	♂	+	発熱、頭痛	軽快
38	♀	+	発熱、頭痛	軽快
39	♂	+	発熱、頭痛	軽快
40	♀	+	発熱、頭痛	軽快

No.41~47

年齢	性別	PCR	症状	経過
41	♂	+	発熱、頭痛	軽快
42	♂	+	発熱、頭痛	軽快
43	♂	+	発熱、頭痛	軽快
44	♀	+	発熱、頭痛	軽快
45	♀	+	発熱、頭痛	軽快
46	♀	+	発熱、頭痛	軽快
47	♂	+	発熱、頭痛	軽快

No.48~54

年齢	性別	PCR	症状	経過
48	♂	+	発熱、頭痛	軽快
49	♂	+	発熱、頭痛	軽快
50	♂	+	発熱、頭痛	軽快
51	♂	+	発熱、頭痛	軽快
52	♂	+	発熱、頭痛	軽快
53	♀	+	発熱、頭痛	軽快
54	♂	+	発熱、頭痛	軽快

No.103~110

加群No 用No 性別	年齢	ワクチン 接種 状況	発熱	呼吸	主な症状	検査結果	隔離	検体	病原菌の検出	検査結果	隔離	担当
N103	F	+	+	+	不明	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1
N104	M	+	+	+	不明	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1
N105	F	+	+	+	不明	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1
N106	M	+	+	+	不明	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1
N107	F	+	+	+	不明	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1
N108	M	+	+	+	不明	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1
N109	F	+	+	+	不明	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1
N110	M	+	+	+	不明	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1

No.111~118

加群No 用No 性別	年齢	ワクチン 接種 状況	発熱	呼吸	主な症状	検査結果	隔離	検体	病原菌の検出	検査結果	隔離	担当
N111	F	+	+	+	不明	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1
N112	M	+	+	+	不明	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1
N113	F	+	+	+	不明	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1
N114	M	+	+	+	不明	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1
N115	F	+	+	+	不明	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1
N116	M	+	+	+	不明	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1
N117	F	+	+	+	不明	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1
N118	M	+	+	+	不明	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1

No.119~126

加群No 用No 性別	年齢	ワクチン 接種 状況	発熱	呼吸	主な症状	検査結果	隔離	検体	病原菌の検出	検査結果	隔離	担当
N119	F	+	+	+	不明	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1
N120	M	+	+	+	不明	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1
N121	F	+	+	+	不明	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1
N122	M	+	+	+	不明	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1
N123	F	+	+	+	不明	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1
N124	M	+	+	+	不明	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1
N125	F	+	+	+	不明	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1
N126	M	+	+	+	不明	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1

No.127~134

加群No 用No 性別	年齢	ワクチン 接種 状況	発熱	呼吸	主な症状	検査結果	隔離	検体	病原菌の検出	検査結果	隔離	担当
N127	F	+	+	+	不明	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1
N128	M	+	+	+	不明	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1
N129	F	+	+	+	不明	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1
N130	M	+	+	+	不明	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1
N131	F	+	+	+	不明	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1
N132	M	+	+	+	不明	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1
N133	F	+	+	+	不明	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1
N134	M	+	+	+	不明	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1

No.135~142

加群No 用No 性別	年齢	ワクチン 接種 状況	発熱	呼吸	主な症状	検査結果	隔離	検体	病原菌の検出	検査結果	隔離	担当
N135	F	+	+	+	不明	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1
N136	M	+	+	+	不明	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1
N137	F	+	+	+	不明	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1
N138	M	+	+	+	不明	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1
N139	F	+	+	+	不明	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1
N140	M	+	+	+	不明	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1
N141	F	+	+	+	不明	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1
N142	M	+	+	+	不明	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1

No.143~149

加群No 用No 性別	年齢	ワクチン 接種 状況	発熱	呼吸	主な症状	検査結果	隔離	検体	病原菌の検出	検査結果	隔離	担当
N143	F	+	+	+	不明	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1
N144	M	+	+	+	不明	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1
N145	F	+	+	+	不明	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1
N146	M	+	+	+	不明	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1
N147	F	+	+	+	不明	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1
N148	M	+	+	+	不明	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1
N149	F	+	+	+	不明	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1
N150	M	+	+	+	不明	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1	5/1

8. 症例進捗管理表

図 8-1. 実際の管理表 (2018年6月4日撮影) *機微情報は目隠し

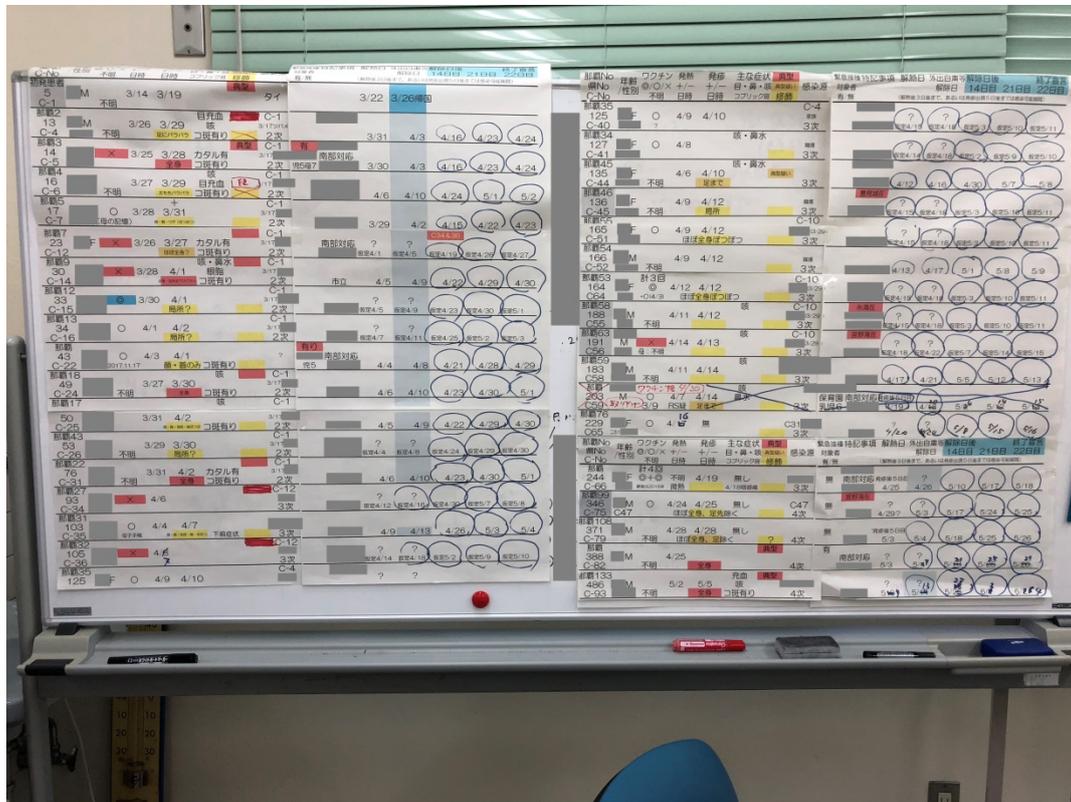


図 8-2. 電子ファイル上の管理表 *機微情報は削除

那覇No 県No C-No	年齢 /性別	ワクチン ◎/○/×	発熱 +/- 日時	発疹 +/- 日時	主な症状 目・鼻・咳 コブシク斑	典型 典型 修飾 典型	緊急接種 対象者 有/無	特記事項	解熱日	外出自粛等 解除日	解熱3日後から 14日目 21日目	終了宣言 22日目
初発患者 5 C-1		不明	3/14	3/19	タイ	典型			3/22	3/26 帰国		
那覇2 13 C-4		不明	3/26	3/29	目充血 咳 足にバラバラ コブシク斑有り	典型 修飾		〇〇病院	3/31	4/4	4/17 4/24	4/25
那覇3 14 C-5		×	3/25	3/28	カタル有 全身 コブシク斑有り	典型	有	〇〇病院	3/30	4/3	4/16 4/23	4/24
那覇4 16 C-6		不明	3/27	3/29	目充血 咳 コブシク斑有り	典型 修飾		〇〇クリニック	4/6	4/10	4/23 4/30	5/1
(中略)												
那覇108 371 C-79		不明	4/28	4/28	無し ほぼ全身、足除く	?	無	〇〇クリニック	5/3	5/7	5/20 5/27	5/28
那覇 388 C-82		不明	4/25		全身	典型	有	〇〇病院	5/3	5/7	5/20 5/27	5/28
那覇133 486 C-93		不明	5/2	5/5	充血 咳 コブシク斑有り	典型		〇〇病院	5/9	5/13	5/26 6/2	6/3

*解除日から区切りの日が経過することに、掲示板では青丸で、電子ファイル上は青く塗りつぶして行った。

9. 那覇市保健所記者会見資料（4月6日）

プレスコミ各位

平成30年4月6日（金）
那覇市健康部 那覇市保健所
保健総務課 保健総務グループ 担当：新崎
電話：098-8533-7964

麻しん（はしか）予防接種対応の強化について

1 報道関係者の方へ

本県では、平成30年3月23日に、平成28年以降となる麻しん患者が発生して以降、4月5日までに初発例を含め26例の麻しん患者が確認されており、更に感染拡大が予想されます。

また、4月は、入園・入学式、入社式等の時期であることや、本格的な観光シーズンとなり多数の観光客が訪れることが予想されます。

以上のことから、本市は、感染予防の観点から予防接種の勧奨強化を図ることとしました。

① 緊急対応）生後6ヶ月～12ヶ月未満児への公費一部負担による麻しん風しん混合（MR）ワクチンの補助の実施

→本来ならば1期の定期予防接種（1歳以上2歳未満）での接種であるが、現在、麻しんが流行しているため、緊急対応とし、母子免疫が終了すると言われている生後6ヶ月から12ヶ月未満児に対し、予防接種を希望する場合の費用の補助を実施いたします。これは、乳幼児が麻しんウイルスに感染すると、肺炎・中耳炎・脳炎等の合併症を引き起こす可能性が高いとされているためであります。

② 麻しん風しん混合（MR）ワクチン 定期予防接種対象期間内に接種をしていない者への勧奨の実施

→定期予防接種対象期間内に接種をしていない者に対し、接種勧奨の働きを郵送します。なお、接種にかかる費用は無料となっております。

1期：2歳のお誕生日から2期対象年度前日までの者
2期：小学1年生相当の年齢から小学6年生相当年齢までの児童で、2期の定期予防接種未接種の者

○参考 統計○
MR 1期：1歳以上2歳未満（1歳以上2歳の誕生日の前日まで）

全国	平成26年度	平成27年度	平成28年度
沖縄県	96.40%	96.20%	97.20%
那覇市	93.30%	92.60%	95.20%
那覇市	91.40%	90.50%	94.60%

MR 2期：小学校入学前1年間

全国	平成26年度	平成27年度	平成28年度
沖縄県	93.30%	92.90%	93.10%
那覇市	89.50%	90.40%	89.80%
那覇市	87.40%	90.10%	90.60%

2 麻しんの予防接種について

【麻しん（はしか）】

原因：麻しんウイルス
潜伏期間：10～12日
主な症状：感染すると約10日後に発熱や咳・鼻水といった高熱と発疹が出現。肺炎、中耳炎を合併しやすく、また、10万人に1人程度と頻度は高くないものの、麻しんウイルスに感染後、特に学童期に顕性硬化性全脳炎（SSPE）と呼ばれる中枢神経疾患を発症することがある。

感染経路：空気感染でヒトからヒトへ感染が伝播し、その感染力は非常に強く麻しんの免疫がない集団に1人の麻しん患者がいたとすると12～14人の人が感染するとされている。また、発症した人が間接に感染させる期間は、症状が出現する1日前（発疹出現の3～5日前）から発疹出現後4～5日くらいまで、学校は解熱後3日を経過するまで出席停止となる。なお、感染力がもっとも強いのは発疹出現前の※カタル期です。（※発熱・くしゃみ・鼻水・咳・眼脂・眼の充血等が見られる時期）

感染経路：空気感染でヒトからヒトへ感染が伝播し、その感染力は非常に強く麻しんの免疫がない集団に1人の麻しん患者がいたとすると12～14人の人が感染するとされている。また、発症した人が間接に感染させる期間は、症状が出現する1日前（発疹出現の3～5日前）から発疹出現後4～5日くらいまで、学校は解熱後3日を経過するまで出席停止となる。なお、感染力がもっとも強いのは発疹出現前の※カタル期です。（※発熱・くしゃみ・鼻水・咳・眼脂・眼の充血等が見られる時期）

以上のことから、麻しんの感染拡大防止のため予防接種の勧奨を実施します。

① 定期接種対象者 ※無料
1期：1歳以上2歳未満（1歳以上2歳の誕生日の前日まで）
2期：小学校入学前1年間（生年月日H24.4.2～H25.4.1の者）

② 定期接種期間内に接種をしていない者 ※無料

0 歳児のMR 予防接種について

1期：2歳のお誕生日から2期対象年度前日までの者
 2期：小学1年生相当の年齢から小学6年生相当年齢までの児童で、2期の
 定期予防接種未接種の者

⑨ 上記①②以外の者について ※有料（1万円程度）
 接種履歴等を確認して、麻しん風しん混合（MR）ワクチン接種を勧奨します。
 ワクチンを受けたか分からない、もしくは1回だけ等、未接種の場合は
 ワクチン接種を受けることを積極的に検討してください。妊娠中・妊娠の可
 能性のある方はワクチン接種を受けることが出来ません。
 なお、費用は有料となります。

参考【あなたは何年生まれですか？ワクチン接種状況チェック！】	
ワクチン接種の状況	
昭和52年以前生まれの者	定期接種が行われていませんでしたが、自然に麻しんに感染する世代でもあるので、免疫がある人となんがいいます。
昭和52年～平成2年以前生まれの者	定期接種を受ける対象になっていましたが、1回のみ接種となっています。麻しんの免疫が低い可能性が あります。低い場合は、修飾麻しんといって、自身は比較的軽い症状ですが、周囲に感染させてしま う恐れがありますので、2回接種を必要とします。
平成3年以降生まれの者	定期接種2回接種の世代です。母子手帳を確認の上、 接種が行われていない場合は、MRワクチンを接種し て下さい。

※医療従事者、教育関係者、保育関係者、観光関係者等の皆様は、感染拡大防止のため積極的に受けましょう。

1. 助成対象期間：
平成30年3月31日～6月30日（予定）
2. 助成対象年齢：
上記「助成対象期間」に生後6ヶ月～12ヶ月
未満となった児

3. 助成額：1人あたり11,523円を上限とする

4. 申請方法：償還払い方式

ワクチン接種時に自己負担にて支払い後、接種した医療機関で領収書を受け取り、健康増進課の窓口にて申請。申請の際は、①運転免許証等保護者本人が確認できるもの、②領収書（原本）、③予防接種の履歴が確認できる親子健康手帳、④振込先となる銀行等の預金通帳、⑤印鑑（認印）、⑥保護者以外の方が窓口にて申請する場合は委任状が必要となる。郵送による申請も可能であるが、申請の様式を市のホームページからダウンロードし、記載捺印の上、不備がないようにご確認後郵送してください。

麻疹についてのQ&A

Q1. 生後6ヶ月未満の乳児でも接種可能ですか。その場合、副反応についてはどうなりますか。
A1. 生後6か月未満の乳児は、移行抗体（胎盤を通じて胎児に与えられた抗体）があるため、接種の必要はありません。

Q2. II期接種前の年齢（2歳～5歳）ですが、予防接種を受けても大丈夫ですか。
A2. 接種は可能ですが、任意（全額自己負担）での接種となります。
※II期接種対象者：5～7歳未満で小学校就学前1年間（就学前年度4/1～3/31）

Q3. I期、II期どちらも接種していない場合、これから2回接種していいですか。その場合、接種の間隔はどうなりますか。
A3. できるだけ、早く予防接種を受けることが重要です。
流行時は、2回目の接種時期は1回目接種後より1ヶ月間隔を開けて接種することが可能です。

麻疹が終息した時には、1回目から数年の間隔を開けて接種したほうが、より麻疹の免疫ができる割合が高まり、感染予防に効果が上がります。

Q4. I期は未接種、II期は接種済です。1回しか接種していないので、あと1回接種したいのですが、接種可能ですか。
接種する場合、II期接種後からどのくらいの間隔で接種したほうがいいですか。
A4. 可能ですが、あと1回の接種は任意接種（全額自己負担）になります。
接種の間隔は、1ヶ月以上の間隔を開ければ接種可能です。

Q5. 予防接種後、どのくらいで抗体が付きますか。
A5. ワクチン接種後、血中抗体は2週間から出現するといわれています。

Q6. 麻疹の子供接種は、必ず2回接種しないといけないのですか。
A6. 2回の接種を受けることで、1回の接種では十分に免疫がつかない方がいるため、2回の接種が必要です。

また、接種後、時間の経過とともにその免疫が低下してきた人に対して、2回目の接種で免疫をより増強させる効果があります。

Q7. 予防接種は何回まで接種していいのですか。
A7. 基本は2回ですが、仮に3回以上接種しても、問題はありません。
抗体価がさらに上がり感染予防には効果が上がるとされています。

Q8. 妊娠中、妊娠の可能性がります。予防接種を受けることができますか。
A8. 妊娠中、または妊娠の可能性がらる方へは、予防接種はできません。

不要不急の外出を控え、入浴みできるだけ避けるようにしてください。

Q9. 熱があります。どうしたらいいですか。
A9. 麻疹は、風邪症状（発熱、咳）と似たような症状がありますが、発熱だけでは麻疹とは判断できません。

38℃前後の発熱が2～4日続き、倦怠感、上気道炎症状（咳、鼻みず、くしゃみ）、結膜炎症状（結膜充血、目やに、光をまぶしく感じるなど）が現れ、その後、再び高熱（39℃以上）とともに発疹が出現します。
熱が出た場合には、学校や会社への登校、出勤を控え、自宅で休養を取ってください。
症状が悪化した場合には、医療機関を受診してください。

Q10. 麻疹にかかったことがあるかもしれませんが、予防接種をしたほうがいいですか。
A10. 麻疹にかかったことがある場合には、成人になっても十分な抗体を保持していることが多いので、麻疹の予防接種は必要ありません。
はつきりわからず、抗体があるか確認をしたい場合、抗体検査（全額自己負担）で確認をすることができます。
抗体があれば接種不要、抗体がなければ予防接種を受けることをお勧めします。

Q11. 麻疹にかかったかどうかわかりません。予防接種間隔もわかりません。どうしたらいいですか。
A11. 抗体検査で確認するか、もしくは、抗体検査を受けずに予防接種をされても構いません。ただし、任意接種（全額自己負担）になります。

10. 広報（ホームページ & Facebook画像）

図10-1. 那覇市ホームページトップページ画像（2018年6月15日時点）



図10-2. 那覇市の麻疹発生状況についての特設サイト（2018年6月11日時点）

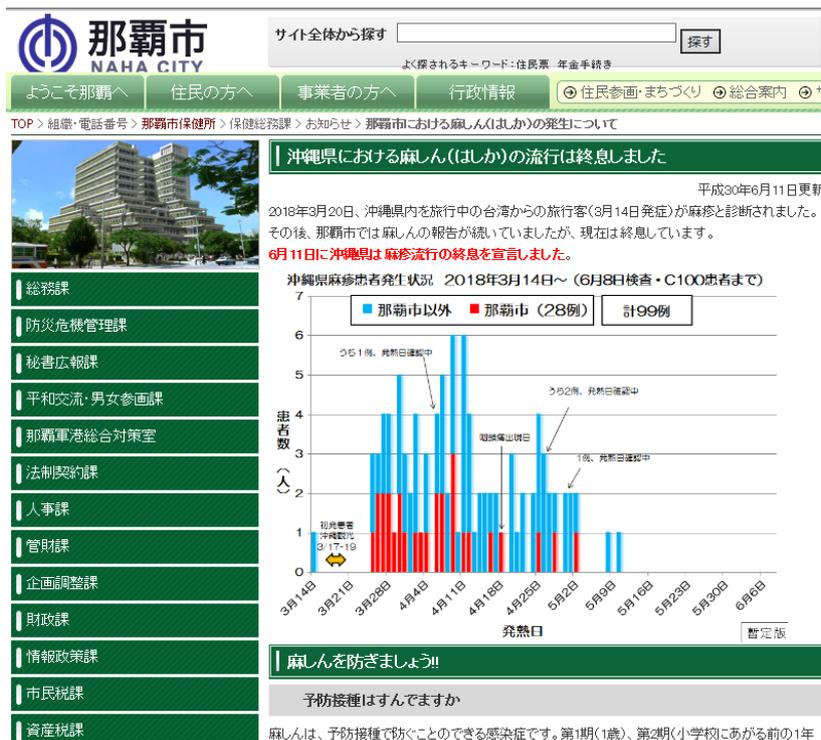


図10-3. 麻しん発生による緊急の予防接種についての特設サイト
(2018年6月11日時点)

The screenshot shows the Naha City website with a search bar and navigation menu. The main content area is titled "麻しん発生による緊急の予防接種について" (About emergency measles vaccination due to outbreak). It includes a sidebar with department links and a main text area with details about the vaccination campaign.

麻しん発生による緊急の予防接種について

台湾からの観光客による麻しんの二次感染が拡大しており、本市としまして下記の対応が決定しました。

なお、中学生以上(成人含む)への予防接種の補助はございません。
全額自己負担となりますので、ご了承ください。

成人の予防接種については、那覇市保健所 保健総務課(☎853-7964)までお問い合わせください。

緊急の予防接種について

▶0歳児のMR予防接種について

※予防接種はお子さまが**6カ月を越えてから**受けてください
(接種時点で6か月未満の場合は対象外となります)

※5月1日以降のワクチン接種については**支払方法が変更**になりました。

1. 対象期間:平成30年5月1日～6月30日
2. 対象年齢:平成30年5月1日～6月30日に生後6か月～12か月未満となった児
3. 接種費用:5月1日からのワクチン接種については**無料**となりました

なお、離島・県外でのワクチン接種を希望する場合(例えば、里帰り出産先での接種など)は、「接種依頼書」が必要となりますので、事前に健康増進課予防接種班にお問い合わせください。(☎853-7961)

4. ただし、平成30年3月31日～4月30日に接種したMR予防接種については**償還払い**となります。ワクチン接種時に自己負担にて支払い後、接種した医療機関の領収書に下記書類を添えて、健康増進課の窓口(平日8:30～17:15 ※12:00～13:00を除く)にて申請となります。

申請の際は、①運転免許証等の保護者本人が確認できるもの、②領収書(原本)、③今回接種

図10-4. 那覇市保健所のFacebook (2018年3月23日)

The screenshot shows a Facebook post from the Naha City Health Center. The post is in Japanese and discusses the emergency measles vaccination campaign.

那覇市保健所
作成者: Zukeyama Yuji [?] · 3月23日 · 🌐

◆平成26年以來に県内で麻しん(はしか)患者が発生。改めて予防接種履歴の確認を◆

はいさい。那覇市保健所です。
詳しくは下記をご覧ください。
<http://www.city.naha.okinawa.jp/.../mashinhassei201803.html>

WWW.CITY.NAHA.OKINAWA.JP

麻しん発生にかかる注意喚起 | 那覇市 Naha City

TOP > 組織・電話番号 > 那覇市保健所 > 保健総務課 > お知らせ > 麻しん発生にかかる注意喚起

第 1 報

取扱注意

③ 接種者の状況、施設名など、接種者の接種履歴/子どものお名前・接種者の数(の単位、接種など)

<p style="text-align: center;">④ 属性別対応</p> <p style="text-align: center;">日時</p> <p style="text-align: center;">内容</p> <p style="text-align: center;">担当</p>	<p style="text-align: center;">⑤ 接種履歴</p> <p style="text-align: center;">⑥ 行政機関対応</p>
--	---

【麻しん（疑い例）調査票：患者さん記入用】

(保健所管理用)

調査票受付日	検体受付日	結果受付日	結果		
--------	-------	-------	----	--	--

麻しん(疑い例)調査票(那覇市保健所)

麻しん(疑い)と診断された皆様へ、以下の調査票へのご協力をお願いします。
選択項目は丸を空欄は該当する内容をご記入ください。
また、追加で伺うこともありますのでご了承ください。

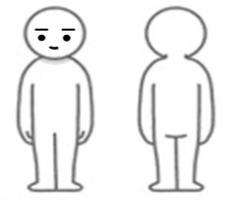
基本情報

氏名	性別	男・女	年齢	歳	ヶ月
住所	電話番号				
会社名/学校名等					
麻しん予防接種歴	1回目(有・無) 2回目(有・無) 母子手帳の記録(有・無)				
医療機関名					

症状

今回の症状について該当するものに丸をつけ症状の表れた日をご記入ください

- ・発熱(月日)
- ・かぜ症状(咳・鼻水・のどの痛み)
- ・目の充血(月日)
- (月日)
- ・皮膚のぶつぶつ(発疹)
- (月日)
- 右の人型へぶつぶつが現れた箇所をご記入ください ⇨
- ・その他



同居者(家族)情報

同居者	続柄	年齢	予防接種歴	罹患歴	備考
同居者1			1回・2回・無・不明	有・無・不明	
同居者2			1回・2回・無・不明	有・無・不明	
同居者3			1回・2回・無・不明	有・無・不明	
同居者4			1回・2回・無・不明	有・無・不明	
同居者5			1回・2回・無・不明	有・無・不明	
同居者6			1回・2回・無・不明	有・無・不明	
同居者7			1回・2回・無・不明	有・無・不明	

お名前

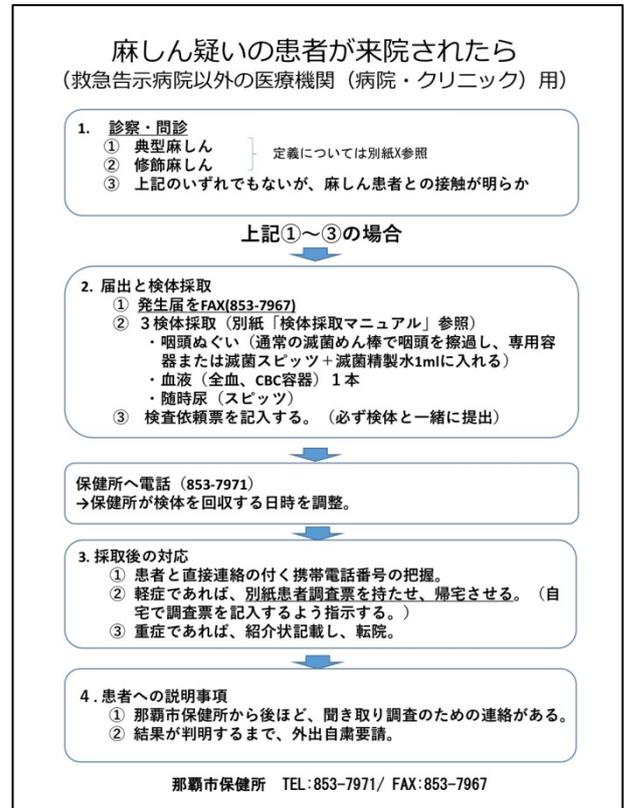
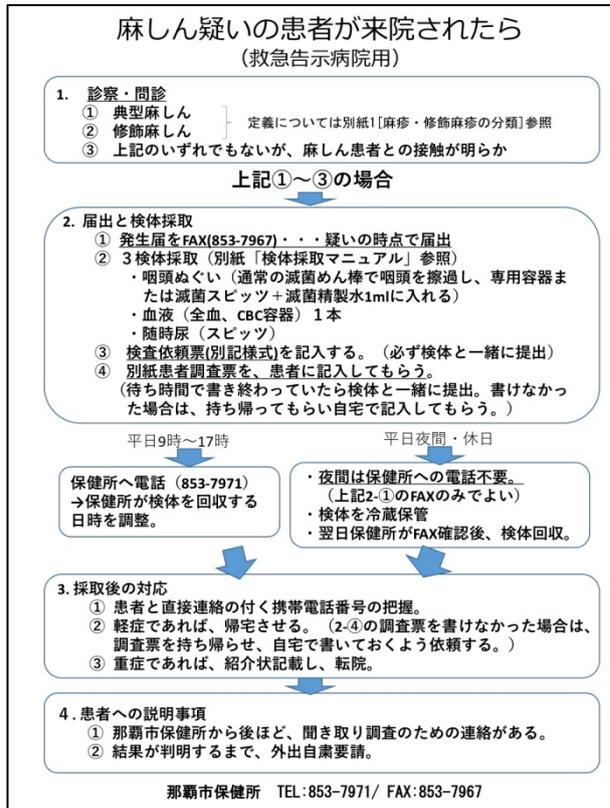
☆どこで感染したかを推定するために麻疹発症から7~21日前(特に7日~14日前)の主な外出場所や訪問先についてご記入ください。

発症日より	日付	時刻	外出先・施設名 (店舗名など場所が特定できる情報をご記入ください)	行動とその場に居た人の人数	備考
記載例	5/3	9~17時 18~20時	〇〇商事 〇〇レストラン(与儀)	会議室で商談。××社も含む計5名 職種の差別会で同僚20人が参加	
21日前	/	/	/	/	/
20日前	/	/	/	/	/
19日前	/	/	/	/	/
18日前	/	/	/	/	/
17日前	/	/	/	/	/
16日前	/	/	/	/	/
15日前	/	/	/	/	/
14日前	/	/	/	/	/
13日前	/	/	/	/	/
12日前	/	/	/	/	/
11日前	/	/	/	/	/
10日前	/	/	/	/	/
9日前	/	/	/	/	/
8日前	/	/	/	/	/
7日前	/	/	/	/	/

☆症状が現れる前後の外出場所、訪問先についてご記入ください。

発症日より	備考
1日前	/
発熱	/
1日後	/
2日後	/
3日後	/
4日後	/
5日後	/
6日後	/
7日後	/
8日後	/

【麻疹疑い発生時対応フローチャート等】



麻疹検体採取マニュアル

平成30年4月11日一部改正
このマニュアルは、沖縄県麻疹全数把握実施要領に基づく検体の採取方法について定める。

- 検査材料
 - 1) 咽頭ぬぐい液(滅菌綿棒を検体輸送培地入り容器※に入れる)

検体輸送培地入り容器がない場合

 - ① 保健所がすぐに回収できる場合、空の滅菌スピッツで代用可。
 - ② 保健所がすぐに回収できない場合、または長時間検体を医療機関で保管する場合、滅菌精製水1mlを入れた滅菌スピッツで代用可。

保健所は、空容器の場合、検体採取後速やかに回収し、迅速に衛研へ提出する。生理食塩水入りは可能な限り避けよう。
 - 2) 末梢血液(EDTA容器(CBC用容器)に1ml。ヘパリン入りは不可)
 - 3) 尿(随時尿スピッツ1本)
- 検体採取の時期

発疹出現日を第0病日とし、第5病日以内に採取する。
但し、麻疹確定患者との接触が明らかでない症例においては潜伏期を経て最初の発熱があった時点で検体を採取することも可能。
日数が経過しているときは尿が有用となるため、可能な限り尿も提出。
- 採取方法
 - 1) 咽頭ぬぐい液は、滅菌綿棒で咽頭を丁寧にぬぐい、約3mlの検体輸送培地(ウイルス保存液)に浸し、適当な長さで綿棒の柄の部分折り、密栓する。
(右図参照) 
 - 2) 末梢血液は、抗凝固剤(EDTA、ACD等)入りの容器に血液を1cc採取する。ヘパリン入りの血液は、遺伝子検査(PCR法)に影響するため使用しない。
 - 3) 尿は、随時尿を滅菌スピッツ1本分(約10ml)に採取する。

※ 検体輸送培地(ウイルス保存液)
県衛生研究所で作成し、各保健所で保管している。
使用期限は約半年間。

那覇市保健所 保健総務課 感染症相談室
TEL: 098-853-7971 FAX: 098-853-7967

麻疹・修飾麻疹の分類

別紙1

(典型) 麻疹

以下の3つの症状をすべて満たす

- ・ 38℃以上の発熱
- ・ 全身の発疹(皮膚の赤いぶつぶつ)
- ・ 咳、鼻水、眼の充血のうち2つ以上の症状



修飾麻疹

上記の1つまたは2つを満たす、もしくは以下のいずれか1つ以上の症状を満たす

- ・ 熱っぽさ、または37℃台の発熱
- ・ 部分的な発疹
- ・ 咳、鼻水、眼の充血の1つ以上



那覇市保健所 TEL:853-7971/ FAX:853-7967

那覇市保健所



那覇市保健所 保健総務課 結核感染症グループ
電話：098-853-7971